brother

ユーザーズガイド ネットワーク操作編

DCP-7065DN
MFC-7460DN
FAX-7860DW

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1　7 章「困ったときは（トラブル対処方法）」で調べる

2　サポート　ブラザー　検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

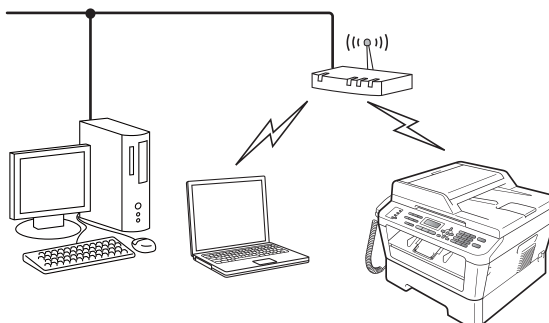
Version A JPN

やりたいことがすぐ探せる！ **やりたいこと目次** 3P

目　次

本ガイドの使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルで設定する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

やりたいこと目次

操作パネルを使ってネットワークの設定をしたい。 操作パネルのボタンを操作して、ネットワーク上で本製品を使用するための設定ができます。 詳しくは⇒ 35 ページを参照してください。 	**無線 LAN を使う（FAX-7860DW のみ）** LAN ケーブルを使用しないで、無線でネットワークに接続できます。 詳しくは⇒ 14 ページを参照してください。 
ウェブブラウザーを使って本製品を管理する。 標準のウェブブラウザーから本製品に HTTP を使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。 詳しくは⇒ 49 ページを参照してください。	**BRAdmin Light を使って本製品を設定する。** 付属のソフトウェア BRAdmin Light 使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。 詳しくは⇒ 9 ページを参照してください。

VCCI規格

本製品は、クラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

無線LAN機器使用の際のご注意

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品のチャンネルを変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの場合は、弊社「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

補足

本製品の設置場所によって、最大70メートルまで届きます。最大の到達距離や通信速度は、設置する環境と使用する機器の種類により異なります。

電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」：2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。
「DS」：変調方式がDS-SS方式であることを表す。（IEEE802.11bのとき）
「OF」：変調方式がOFDM方式であることを表す。（IEEE802.11gのとき）
「4」　：想定される与干渉距離が40m以下であることを表す。
「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線モジュール内蔵について

本製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

本ガイドの読みかた

章を示します。

インデックスです。
現在の章を黒色で示します。

第1章　ネットワークの設定

大見出しです。

ネットワークの設定

ネットワーク環境で本製品を使用する前に、TCP/IPの設定をする必要があります。
この章では、TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク印刷をするために必要な基本手順について説明します。

中見出しです。

BRAdmin Lightで設定する

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されている本製品の初期設定用ユーティリティソフトです。ネットワーク上の本製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が可能です。
BRAdmin Lightは、Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2003/2008、Mac OS X 10.4.11 以降のコンピューターで利用できます。Windows®をご使用の場合は、本製品に付属のかんたん設置ガイドを参照し、BRAdmin Light をインストールしてください。Macintosh をご使用の場合は、プリンタードライバーをインストールすると、自動的に BRAdmin Light もインストールされます。すでにプリンタードライバーをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

補足項目です。

補足
- TCP/IP ネットワークで接続された本製品を自動的に検索し、IP アドレスなどのネットワーク設定を変更できるので、ネットワーク管理が簡単に行えるようになります。
- さらに高度なプリンター管理を必要とする場合は、BRAdmin Professional（Windows®版のみ）をご利用ください。BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてご使用ください。

小見出しです。

BRAdmin Lightでの設定方法

注意していただく内容です。

注意
■BRAdmin Lightは付属のドライバー &ソフトウェアCD-ROM内に収録されています。
■さらに高度なプリンター管理を必要とされる場合は、BRAdmin Professional ユーティリティ（Windows® 版のみ）をご利用ください。
BRAdmin Professionalはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で提供しております。
■現在設定されているノード名やMACアドレスを調べるときは、「ネットワーク設定リスト」を印刷します。
詳しくは⇒35ページを参照してください。

閲覧する内容を説明しているページを示します。

操作手順です。

1 Windows® は、[スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム)］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順に選択する

BRAdmin Lightが起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

Macintosh は、デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］の順に選択する

BRAdmin Light が起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

操作手順を補足する手順画面やイラストです。

補足
Macintoshの場合BRAdmin Lightは、ドライバーをインストールすると自動的にインストールされます。

9

ページ番号です。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

本ガイドの使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルで設定する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

本ガイドの表記

本ガイドでは、本製品のイラストおよびインストール手順の説明画面に例としてMFC-7460DNを使用しています。
本文中では、OS名称を略記しています。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemです。
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemです。
Windows® XP Professional x64 Editionの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Server® 2003 x64 Editionの正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2008の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating systemです。
Windows Server® 2008 R2の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating systemです。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
Windows® 7の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating systemです。

マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先を記載しています。（XXXはページ、参照先）
「XXX」	ユーザーズガイド 基本編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	ユーザーズガイド パソコン活用編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	ユーザーズガイド ネットワーク知識編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。（XXXはボタン名）
「XXX」	コンピューターの画面や液晶ディスプレイに表示される項目や入力文字などを表しています。（XXXは項目名や入力文字）

編集ならびに出版における通告

本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本ガイドに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

はじめに

概要

本製品のネットワークインターフェイスを利用してLANまたはWANに接続し、ネットワーク上のコンピューターから本製品で原稿のファクス受信（MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ）や印刷ができます。
本ガイドは、本製品をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。

次の表では、各動作環境でサポートするネットワークの機能と接続について示しています。

オペレーティングシステム（OS）	Windows® 2000 Windows® XP Windows® XP Professional x64 Edition Windows Vista® Windows® 7	Windows Server® 2003 Windows Server® 2003 x64 Edition Windows Server® 2008 Windows Server® 2008 R2	Mac OS X 10.4.11以降
印刷	○	○	○
スキャニング※2	○		○
PCファクス送信※2、4	○		○
PCファクス受信※2、4	○		
BRAdmin Light	○	○	○
BRAdmin Professional※1	○	○	
ウェブブラウザー	○	○	○
リモートセットアップ※2、4	○		○
ステータスモニター※2	○	○	○
オートマチックドライバーインストーラー	○	○	
Vertical Pairing※3	○		

※1 BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてください。
※2 詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。
※3 Windows® 7のみ（詳しくは、⇒ユーザーズガイド ネットワーク知識編「Vertical Pairing を使用する（Windows® 7のみ）」を参照してください。）
※4 MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ

特長と機能

セキュリティ機能

本製品は、最新のネットワークセキュリティと暗号化プロトコルに対応しています。
詳しくは、⇒60ページ「セキュリティ機能」を参照してください。

セキュリティ機能ロック2.0（FAX-7860DWのみ）

ウェブブラウザー使用して、ユーザーごとにできる機能を制限することができます。
詳しくは、⇒53ページ「セキュリティ機能ロック2.0（FAX-7860DWのみ）」を参照してください。

スキャン to FTP（MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ）

スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたFTPサーバー上に保存する機能です。スキャン to FTP を使用するには、ウェブブラウザーであらかじめプロファイルを登録する必要があります。プロファイルを登録する方法は、⇒58ページ「ウェブブラウザーを使用してスキャン to FTPを設定する （MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ）」を参照してください。

1章

ネットワークの設定

概要

ネットワーク環境で本製品を使用する前に、TCP/IPの設定をする必要があります。
この章では、TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク印刷をするために必要な基本手順について説明します。

> 本製品をネットワークに接続するには、付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用することをおすすめします。かんたん設置ガイドの手順に従ってプリンタードライバー、スキャナードライバー、ソフトウェアのインストールを進めると、簡単に本製品をネットワークに接続することができます。

補足

付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用したくない場合、または付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーやブラザーソフトウェアを使用できない場合は、本製品の操作パネルを使用してネットワークの設定を変更することができます。詳しくは、⇒35ページ「ネットワークメニュー」を参照してください。

ネットワークを設定するには、次の方法があります。

操作パネルを使用する

本製品の操作パネルを使用して、ネットワーク設定のリセット、ネットワーク設定リストの印刷、TCP/IP の設定ができます。詳しくは、⇒35ページ「ネットワークメニュー」を参照してください。

BRAdmin Lightで設定する

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されている本製品の初期設定用ユーティリティソフトです。ネットワーク上の本製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が可能です。
BRAdmin Lightは、Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2003/2008、Mac OS X 10.4.11以降のコンピューターで利用できます。Windows®をご使用の場合は、本製品に付属のかんたん設置ガイドを参照し、BRAdmin Light をインストールしてください。Macintosh をご使用の場合は、プリンタードライバーをインストールすると、自動的にBRAdmin Lightもインストールされます。すでにプリンタードライバーをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

補足

- TCP/IP ネットワークで接続された本製品を自動的に検索し、IP アドレスなどのネットワーク設定を変更できるので、ネットワーク管理が簡単に行えるようになります。
- さらに高度なプリンター管理を必要とする場合は、BRAdmin Professional（Windows®版のみ）をご利用ください。BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてご使用ください。

BRAdmin Light（Windows®版）をインストールする

1 付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする

2 ［ネットワークユーティリティ］をクリックする



3 ［BRAdmin Light］をクリックし、画面の指示に従ってインストールする



補足

アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Lightの「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的に無効にしてください。

BRAdmin Lightでの設定方法

注意

■BRAdmin Lightは付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内に収録されています。

■さらに高度なプリンター管理を必要とされる場合は、BRAdmin Professional ユーティリティ（Windows® 版のみ）をご利用ください。
BRAdmin Professionalはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で提供しております。

■BRAdmin Light を操作するコンピューターで、「ファイアウォール」を有効にしている場合は、BRAdmin Light の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォールを無効に設定してください。

1 Windows® は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順に選択する

BRAdmin Light が起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

Macintosh は、デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］の順に選択する

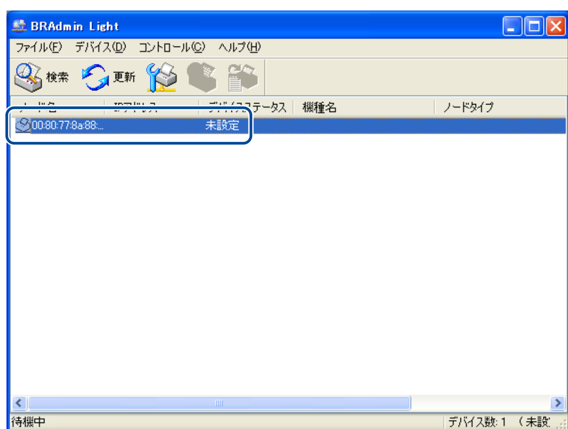
BRAdmin Light が起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

補足

Macintoshの場合BRAdmin Lightは、ドライバーをインストールすると自動的にインストールされます。

2 ［デバイスステータス］が「未設定」となっている本製品をダブルクリックする

Windows®



Macintosh



注意

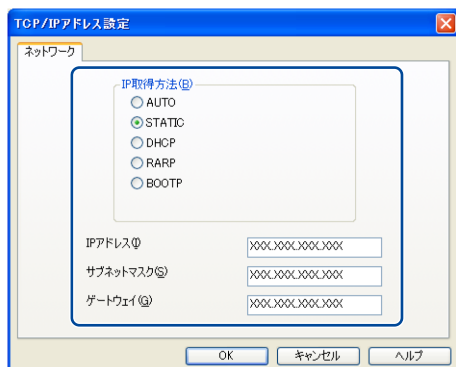
ネットワークインターフェイスがすでに設定されている場合やIPアドレスの自動設定機能によりIPアドレスが割り当て済みの場合には、デバイスステータスに「未設定」とは表示されません。
その場合は、設定を変更せずに本製品を利用することをおすすめします。

補足

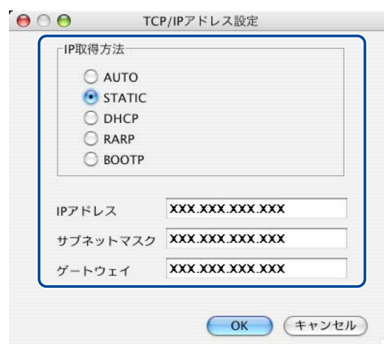
- 現在設定されているノード名やMACアドレスを調べるときは、「ネットワーク設定リスト」を印刷します。詳しくは⇒42ページ「ネットワーク設定リストの出力」を参照してください。
  お買い上げ時のノード名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”となっています。（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）
  「未設定」と表示されていないデバイスに設定するときに、パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。（本製品のお買い上げ時のパスワードは“access”です。）
- ノード名とMACアドレスは操作パネルからでも調べることができます。詳しくは、⇒34ページ「操作パネルで設定する」を参照してください。

3 「IP 取得方法」から［STATIC］を選択し、［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力する

Windows®



Macintosh



4 ［OK］をクリックする

本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウインドーにノード名およびプリンター名が表示されます。

補足

BRAdmin Lightを使用せずにIPアドレスを設定するときは以下の方法でもIPアドレスの設定ができます。

- 操作パネルで設定する場合は⇒36ページ「IP取得方法」を参照してください。
- DHCP、RARP、BOOTPを使用する場合は、⇒36ページ「IP取得方法」、または⇒ユーザーズガイド ネットワーク知識編「IPアドレスの設定方法（上級者ユーザー、ネットワーク管理者向け）」を参照してください。

その他の管理ユーティリティ

ウェブブラウザーを使用する

HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用してネットワークに接続されている本製品の管理ができます。コンピューターにインストールされている標準ウェブブラウザーを使用して、ネットワーク上の本製品のステータス情報を取得し、本製品およびネットワーク設定を変更することができます。
詳しくは⇒49ページ「ウェブブラウザーで管理する」を参照してください。

BRAdmin Professionalを使用する（Windows®のみ）

BRAdmin Professionalは、ネットワークに接続されている本製品の管理をするためのユーティリティです。ネットワーク上の本製品を検索し、ウインドー上でデバイスの状態を閲覧できます。各デバイスは、状態によって色分けされます。ネットワーク上のWindows®システムが稼動するコンピューターから本製品のネットワークファームウェアをアップデートしたり、ネットワーク設定を変更したりすることができます。また、ネットワーク上の本製品の使用状況を記録し、HTML、CSV、TXT、SQL形式でログデータをエクスポートすることができます。クライアントコンピューターに接続した本製品を管理する場合は、クライアントコンピューターに BRPrint Auditor ソフトウェアをインストールしてください。BRAdmin ProfessionalからUSBを経由してクライアントコンピューターに接続している本製品を管理することができます。
詳しい情報とダウンロードについては、次のURLを参照してください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））

BRPrint Auditorソフトウェア（Windows®のみ）

BRPrint Auditorソフトウェアは、USBでローカルに接続された機器をBRAdmin Professionalで管理できるようにします。USB を経由してクライアントコンピューターに接続された機器の情報を収集します。収集した情報はネットワーク上のBRAdmin Professionalが稼動している他のコンピューターで表示することができます。これによって管理者がページカウントやトナー、ドラムの状態、ファームウェアのバージョンなどの項目を確認することができます。
ブラザーネットワーク管理アプリケーションへの通知に加え、使用状況やステータス情報を CSV または XML ファイル形式で、あらかじめ指定したEメールアドレスに直接Eメールを送信することもできます。（SMTPメールサポートが必要です。）
また、Eメールによる警告やエラー状態の通知にも対応しています。

補足

- 情報を取得したい本製品と接続されているクライアントコンピューターに、BRPrint Auditor ソフトウェアをインストールしてください。
- BRAdmin Professionalがインストールされているコンピューターにはインストールしないでください。

2章

無線LANの設定（FAX-7860DWのみ）

無線LAN設定について

概要

本製品を無線LANに接続して使用する場合は、かんたん設置ガイドまたは⇒23ページ「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」に記載されている操作パネルの「ネットワーク」設定メニューから無線接続ウィザードを使用する方法をおすすめします。本製品をお使いの無線LANに簡単に接続することができます。
無線LAN設定とその構成方法などについてはこの章の各項目を参照してください。
TCP/IPの設定については⇒9ページ「BRAdmin Lightで設定する」を参照してください。
プリンタードライバー、スキャナードライバー、ソフトウェアのインストールに関しては、かんたん設置ガイドを参照してください。

注意

■本製品を無線LANアクセスポイント（または無線LAN対応のコンピューター）の近くに設置してください。

■本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。

■本製品と無線LANアクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

■環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線LANまたはUSB接続で印刷することをおすすめします。

■本製品は有線 LAN と無線 LAN の両方で使用できますが、同時に使用することはできません。どちらか一方を選択する必要があります。

■無線LANを設定するには、お使いの無線LANの情報が必要です。SSID、ESSIDとネットワークキーを確認してください。

無線LAN設定の流れ

インフラストラクチャモードの場合

1 ネットワーク環境を確認します。⇒ 18ページ

インフラストラクチャモード
無線LANアクセスポイントとコンピューターが接続されている

2 無線 LAN の設定方法を確認します。⇒ 19ページ

無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用	操作パネルから無線接続ウィザードを使用	ブラザーインストーラーを使用	WPS※1のPIN方式を使用
		無線LANの簡単設定、一時的にUSB、またはLANケーブルを使用	

3 本製品の無線 LAN 設定をします。

本製品の無線LANを設定する			
（かんたん設置ガイド参照）	⇒23ページ	⇒28ページ	⇒26ページ

ドライバーおよびソフトウェアをインストールする（かんたん設置ガイド参照）

※1 Wi-Fi Protected Setup

OK! 無線 LAN 設定とドライバーおよびソフトウェアのインストールが完了です。

アドホックモードの場合

1 ネットワーク環境を確認します。⇒ 18 ページ

アドホックモード
無線LANアクセスポイントなしで無線通信可能なコンピューターが用意されている

2 無線 LAN の設定方法を確認します。⇒ 19 ページ

操作パネルから無線接続ウィザードを使用	 ブラザーインストーラーを使用

3 本製品の無線 LAN 設定をします。

本製品の無線LANを設定する	
⇒23ページ	⇒28ページ



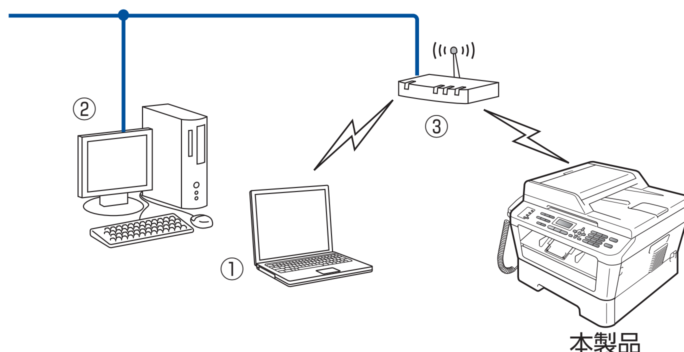
ドライバーおよびソフトウェアをインストールする（ かんたん設置ガイド参照）

OK! **無線 LAN 設定とドライバーおよびソフトウェアのインストールが完了です。**

ネットワーク環境を確認する

ネットワーク上の無線LANアクセスポイントとコンピューターが接続されている場合（インフラストラクチャモード）

インフラストラクチャモードは、各無線LAN端末が無線LANアクセスポイントを経由することによって、データ通信を行う通信方法です。無線LANアクセスポイントは、有線LANにも機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、印刷データを送信するすべての印刷ジョブを、無線LANアクセスポイントを経由してから受け取ります。

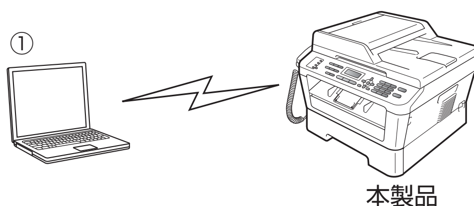


①無線LANで無線LANアクセスポイントに接続されているコンピューター
②有線LANで無線LANアクセスポイントに接続されているコンピューター
③無線LANアクセスポイント※

※ お使いのコンピューターが Intel® MWT（My WiFi Technology）に対応している場合は、コンピューターを WPS（Wi-Fi Protected Setup）対応のアクセスポイントとして使用することができます。

ネットワーク上に無線LANアクセスポイントがなく、無線通信可能なコンピューターが用意されている場合（アドホックモード）

アドホックモードのネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線LANアクセスポイントが存在しません。それぞれの無線LAN機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するコンピューターからすべての印刷ジョブを直接受け取ります。



①無線LAN対応コンピューター

無線LAN設定の方法を確認する

本製品の無線LAN設定をする場合は、次の4つの方法があります。

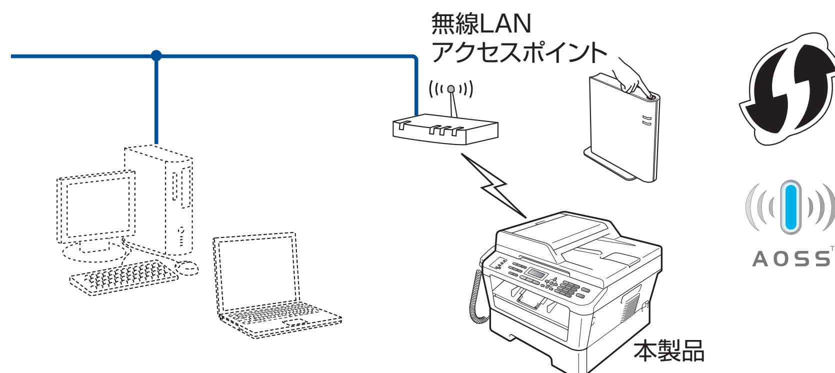
- 無線LANアクセスポイントの簡単設定（AOSS™、WPS※1のPBC※2方式）を使用する
  （無線LANアクセスポイントの簡単設定は、 かんたん設置ガイドを参照してください。）
- 本製品の操作パネルから手動で無線LAN設定をする
- 本製品に付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用する
- WPS※1のPIN※3方式を使用する

※1 Wi-Fi Protected Setup
※2 Push Button Configuration
※3 Personal Identification Number（個人識別番号）

設定手順はご使用のネットワーク環境によって異なります。

操作パネルと無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する（インフラストラクチャモードのみ）

本製品を接続する無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS（PBC※方式）のどちらかに対応している場合は、操作パネルから無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用して、自動で本製品の無線LAN設定ができます。
詳しくは、⇒22ページ「操作パネルと無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する」を参照してください。



※ Push Button Configuration

操作パネルから手動で無線LAN設定をする

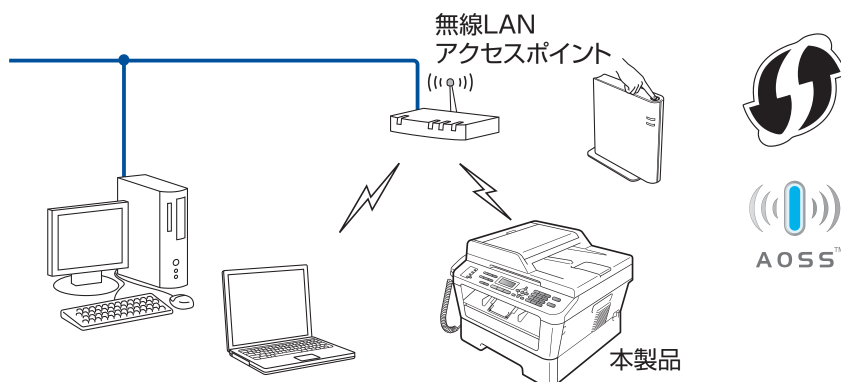
操作パネルから無線接続ウィザードを使用して、本製品の無線LAN設定をすることができます。
インストールを始める前にお使いの無線LAN環境を確認してください。詳しくは、⇒23ページ「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」を参照してください。

ブラザーインストーラーを使用する

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用して、本製品の無線LAN設定をすることもできます。このインストーラーを使用すると、画面の指示に従って操作するだけで本製品を無線LANに簡単に接続することができます。インストールを始める前にお使いの無線LAN環境を確認してください。
詳しくは、⇒28ページ「ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する（FAX-7860DWのみ）」を参照してください。

● 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して自動で無線 LAN 設定をする（インフラストラクチャモードのみ）

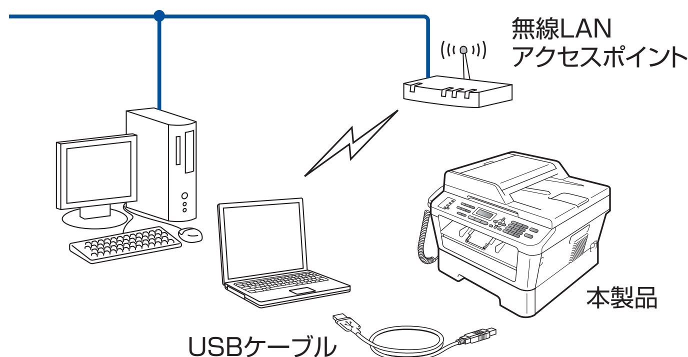
本製品に接続する無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS（PBC※方式）のどちらかに対応している場合に、無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用して、本製品の無線LAN設定をします。



※ Push Button Configuration

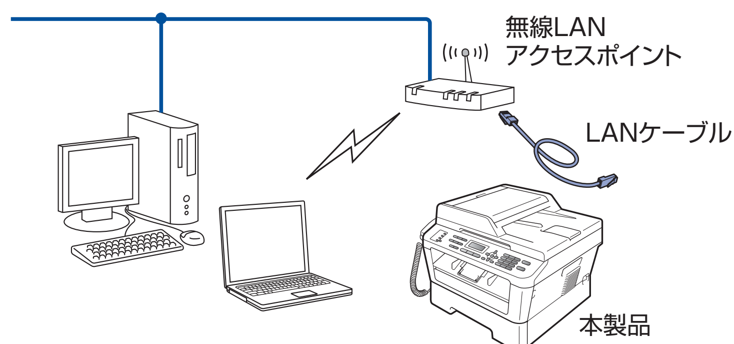
● USB ケーブルを使用して手動で無線 LAN を設定する（インフラストラクチャモードのみ）

ネットワーク上のコンピューターと本製品を一時的にUSBケーブルを使用して接続し、本製品の無線LAN設定をします。



● LAN ケーブルを使用して手動で無線 LAN 設定をする（インフラストラクチャモードのみ）

無線LANアクセスポイントと本製品を一時的にLANケーブルを使用して接続し、本製品の無線LAN設定をします。
無線LANアクセスポイントと同じネットワーク上のコンピューターから本製品を遠隔設定することができます。

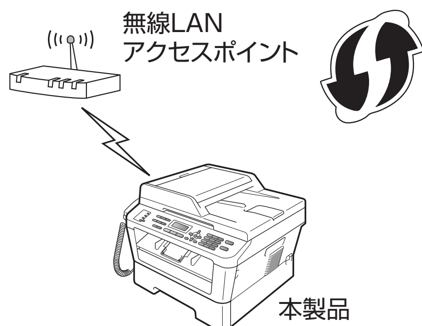


WPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式を使用する（インフラストラクチャモードのみ）

本製品を接続する無線LANアクセスポイントがWPSに対応している場合は、WPSのPIN※方式を使用して本製品の無線LAN設定をすることもできます。詳しくは、⇒26ページ「WPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式を使用する」を参照してください。

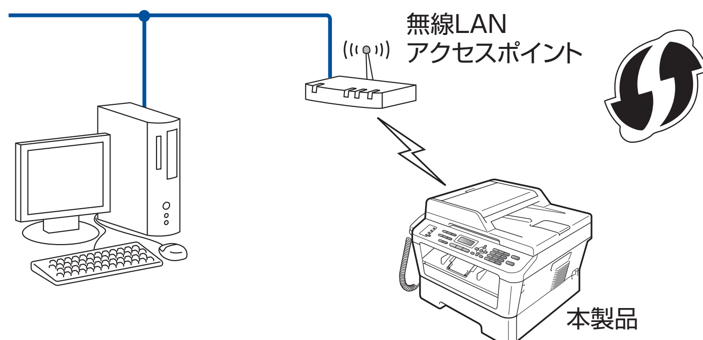
※ Personal Identification Number（個人識別番号）

● 無線 LAN アクセスポイントをレジストラー※として使用する場合の接続



※ レジストラーとは無線LANの登録管理機器です。

● コンピューターからなど別の機器をレジストラー※として使用する場合の接続



※ レジストラーとは無線LANの登録管理機器です。

操作パネルと無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する

無線LANアクセスポイントがAOSS™、またはWPS（Wi-Fi Protected Setup）（PBC※方式）のどちらかに対応している場合は、コンピューターを使用しないで、簡単に本製品の無線LAN設定ができます。
操作パネルの「WPS/AOSS」設定メニューから設定し、無線LANアクセスポイントが簡単設定方式のどのモード（AOSS™、またはWPS）を使用しているかを自動検出します。
無線LANアクセスポイントのボタンと本製品の操作パネルのボタンを押すと、無線LAN設定およびセキュリティ設定が行われます。無線LANアクセスポイントの簡単設定の操作手順については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
本機能については、 かんたん設置ガイドを参照してください。
※ Push Button Configuration

操作パネルから手動で無線LAN設定をする

本製品の操作パネルからウィザード形式で、SSID、認証方式、暗号化方式、ネットワークキーを設定します。
操作パネルの詳しい使い方については、⇒ユーザーズガイド 基本編「操作パネルの名称とはたらき」を参照してください。
手動で設定するには、お使いの無線LANの情報が必要です。まず、無線LANの設定内容を確認し、記入してください。
操作パネルから無線LAN設定するには、次の方法があります。

- すでに SSID とネットワークキーが設定されている無線 LAN に本製品を接続する場合は、かんたん設置ガイドを参照してください。
- 無線 LAN アクセスポイントが SSID を出力しないように設定されている場合は、以下の手順に従って無線 LAN 設定を行ってください。

注意

■本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。

■本製品の無線 LAN 設定がすでに設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、⇒ 40 ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

SSID

接続モード	認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
インフラストラクチャ	オープンシステム認証	なし	—
		WEP	
	共有キー認証	WEP	
	WPA/WPA2-PSK※1	AES	
		TKIP※2	
アドホック	オープンシステム認証	なし	—
		WEP	

※1　WPA/WPA2-PSKは、Wi-Fiが提唱する事前共有キーを使用した認証方式です。TKIPやAESのネットワークキーを使用し、本製品をアクセスポイントに接続します。
WPA2-PSK(AES)とWPA-PSK(TKIP/AES)は、半角8～63文字以内のネットワークキーを使用して認証を行います。
※2　WPA-PSKのみ対応しています。

例：

SSID
HELLO

接続モード	認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
インフラストラクチャ	WPA2-PSK	AES	12345678

補足

WEPキーを使用した場合、本製品は最初に使用したWEPキーのみをサポートします。複数のWEPキーを使用しているルーターの場合は、入力したキーが最初のWEPキーとして使用されます。

1 <メニュー>→<6>→<2>→<2> を押す

無線LAN
2.無線接続ｳｲｻﾞｰﾄﾞ

2 「無線LAN 有効?」が表示されたら、<1> を押す

- 無線LANの設定ウィザードが起動し、本製品から接続できる無線LANが自動的に検索されます。
- 無線LANの設定ウィザードをキャンセルしたい場合は、<停止/終了>を押してください。

3 利用可能な SSID のリストが表示されたら、<▲>または<▼>を押して「<New SSID>」を選択し、<OK> を押す

4 SSID を入力し、<OK> を押す

SSID の入力方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。

SSID:
XXXXX

5 <▲>または<▼>を押して「ｱﾄﾞﾎｯｸ」、「ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ」のどちらかを選択し、<OK> を押す

- 「ｱﾄﾞﾎｯｸ」を選択した場合は、手順7に進みます。
- 「ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ」を選択した場合は手順6に進みます。

6 <▲>または<▼>を押して認証方式を選択し、<OK> を押す

- 「ｵｰﾌﾟﾝｼｽﾃﾑ認証」を選択した場合は、手順7に進みます。
- 「共有ｷｰ認証」を選択した場合は、手順8に進みます。
- 「WPA/WPA2-PSK」を選択した場合は、手順10に進みます。

7 <▲>または<▼>を押して暗号化方式の「なし」、「WEP」のどちらかを選択し、<OK> を押す

- 「なし」を選択した場合は、手順12に進みます。
- 「WEP」を選択した場合は、手順8に進みます。

8 <▲>または<▼>を押して使用する WEP キー（ネットワークキー）を選択し、<OK> を押す

- 何も表示されていないWEPキーを選択した場合は、手順9に進みます。
- すでにWEPキーが設定されている場合は、「****」が表示されます。
- 「****」が表示されているWEPキーを選択した場合、WEPキーを変更するときは、<1>を押して手順9に進みます。
  WEPキーを変更しないときは、<2>を押して手順12に進みます。

9 WEP キー（ネットワークキー）を入力し、<OK> を押して、手順 12 へ進む

ﾈｯﾄﾜｰｸｷｰ
****

- 設定をする前に確認したWEPキーを入力します。
  ⇒23ページの表を参照してください。
- 入力方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。

10 <▲>または<▼>を押して暗号化方式の「TKIP」、「AES」のどちらかを選択し、<OK> を押す

11 WPA キー（ネットワークキー）を入力し、<OK> を押す

ﾈｯﾄﾜｰｸｷｰ
****

- 設定をする前に確認したWPAキーを入力します。
  ⇒23ページの表を参照してください。
- 入力方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。

12 「設定を適用しますか?」と表示されたら、<1> を押す

- <1>を選択した場合は、手順13に進みます。
- 設定内容をキャンセルしたい場合は、<2>を選択し、手順3からやり直してください。

13 本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続される

- 正常に接続されると、液晶ディスプレイに「接続しました」と表示され、無線LANレポートで接続結果が印刷されます。
- 接続に失敗した場合は、印刷された無線LANレポートのエラーコードを確認してください。エラーコードについては、かんたん設置ガイド「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

OK! **無線 LAN 設定は完了しました。**

続いて本製品に付属のドライバー & ソフトウェア CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバーおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

WPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式を使用する

無線LANアクセスポイントがWPS（Wi-Fi Protected Setup）（PIN※方式）に対応している場合は、PIN方式を利用して簡単に本製品の無線LAN設定ができます。PIN（個人識別番号）方式とは、Wi-Fiアライアンスが開発した接続方法の1つです。登録者（本製品）が作成するPINをレジストラー（無線LANの登録管理機器）に入力すれば、無線LAN設定およびセキュリティ設定が行われます。
無線LANアクセスポイントのWPSの操作手順については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
※ Personal Identification Number（個人識別番号）

補足

●WPSに対応している無線LANアクセスポイントには、次のマークが付いています。



注意

■本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。

■本製品の無線 LAN 設定がすでに設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、⇒ 40 ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

1 **<メニュー> → <6> → <2> → <4> を押す**

```
無線LAN
4.WPS(PIN方式)
```

2 **「無線 LAN 有効?」が表示されたら、<1> を押す**

補足

一度設定に失敗し、ネットワーク設定をリセットせずにやり直している場合など、無線 LAN 有効が「ｵﾝ」になっている場合は、このメッセージは表示されません。手順3へ進んでください。

3 **本製品が WPS の PIN 方式に切り替わり、8 桁の PIN（個人識別番号）が表示され、WPS（PIN 方式）に対応している無線 LAN アクセスポイントの自動検出を行う**

```
WPS接続中
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:XXXXXXXX
```

検出は 5 分間継続して行われます。検出時間内に手順 4 を実施してください。

4 **無線 LAN アクセスポイントと同じネットワーク上にあるコンピューターからウェブブラウザーを起動する**
ウェブブラウザーの入力欄に http://XXXXX/ を入力する

[XXXXX] は、レジストラー※として使用される機器の IP アドレスです。
※ 通常は無線LANアクセスポイントがレジストラーです。

5 WPS設定ページへ進み、手順3で表示された8桁のPIN（個人識別番号）をレジストラーに入力し、画面の指示に従って操作する

Windows Vista®/Windows® 7のコンピューターをレジストラーとして使用する場合は、以下の手順に従ってください。

- Windows Vista®の場合
  (1) － ［ネットワーク］の順にクリックします。
  (2)［ワイヤレス デバイスの追加］をクリックします。
  (3) 本製品を選択し、［次へ］をクリックします。
  (4) 手順3で表示されたPINを入力し、［次へ］をクリックします。
  (5) 接続するネットワークを選択し、［次へ］をクリックします。
  (6)［閉じる］をクリックします。
- Windows® 7の場合
  (1) － ［デバイスとプリンター］の順にクリックします。
  (2)［デバイスの追加］をクリックします。
  (3) 本製品を選択し、［次へ］をクリックします。
  (4) 手順3で表示されたPINを入力し、［次へ］をクリックします。
  (5) 接続するネットワークを選択し、［次へ］をクリックします。
  (6)［閉じる］をクリックします。

補足

- ●WPS設定ページは、無線LANアクセスポイントのメーカーによって異なります。詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。
- ●Windows Vista®、またはWindows® 7のコンピューターをレジストラーとして使用するには、前もってWindows Vista®、またはWindows® 7のコンピューターに無線ネットワークプロファイルを登録してください。詳しくは、無線LANアクセスポイント、またはルーターの取扱説明書を参照してください。
- ●Windows® 7のコンピューターをご使用の場合は、Windows® Vertical Pairing機能を利用することができます。Windows® Vertical Pairingは、Vertical Pairingをサポートしている無線機器をWPSのPIN方式とWeb Servicesの特徴を使って、インフラストラクチャネットワークに接続するための機能です。この機能を利用することで本製品の無線設定からプリンタードライバー、スキャナードライバー、ソフトウェアのインストールまで一連の手順で行うことができます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド ネットワーク知識編「Vertical Pairingを使用する(Windows® 7のみ)」を参照してください。

6 「接続しました」と表示されるまで待つ

- 無線LANアクセスポイントとの接続に成功すると、「接続しました」と表示され、無線LANレポートで接続結果が印刷されます。
  これで本製品を無線LANで使用できます。
- 接続に失敗した場合は、印刷された無線LANレポートのエラーコードを確認してください。エラーコードについては、かんたん設置ガイド「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。
- 「接続に失敗しました」または「APが見つかりません」と表示された場合は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。手順1からやり直してください。やり直しても同じメッセージが表示される場合は、本製品のネットワーク設定をリセットし、手順1からやり直してください。
  ネットワーク設定のリセットについては⇒40ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

OK! 無線LAN設定は完了しました。

続いて本製品に付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMから、本製品を動作させるために必要なドライバーおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

3章

ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する（FAX-7860DWのみ）

概要

本製品に付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内に収録されているブラザーインストーラーを使用して、ネットワーク環境に本製品を接続することができます。

補足

操作パネルから無線LAN設定をする場合は、⇒23ページ「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」または かんたん設置ガイドを参照してください。

注意

本製品を無線LANに接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線LANの設定を確認してください。

無線LAN設定をする前に

ブラザーインストーラーで無線LAN設定をする際、お使いの無線LANの情報が必要です。まず、無線LANの設定内容を確認し記入してください。
設定時のネットワークキーは、上記で確認したものを入力してください。

SSID

接続モード	認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
インフラストラクチャ	オープンシステム認証	なし	—
		WEP	
	共有キー認証	WEP	
	WPA/WPA2-PSK※1	AES	
		TKIP※2	
アドホック	オープンシステム認証	なし	—
		WEP	

※1　WPA/WPA2-PSKは、Wi-Fiが提唱する事前共有キーを使用した認証方式です。TKIPやAESのネットワークキーを使用し、本製品をアクセスポイントに接続します。
WPA2-PSK(AES)とWPA-PSK(TKIP/AES)は、半角8～63文字以内のネットワークキーを使用して認証を行います。
※2　WPA-PSKのみ対応しています。

例：

SSID
HELLO

接続モード	認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
インフラストラクチャ	WPA2-PSK	AES	12345678

補足

WEPキーを使用した場合、本製品は最初に使用したWEPキーのみをサポートします。複数のWEPキーを使用しているルーターの場合は、入力したキーが最初のWEPキーとして使用されます。

無線LANの設定をする

注意

- ■本製品の無線LAN設定がすでに設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。
  詳しくは、⇒40ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。
- ■設定には、一時的にLANケーブル、またはUSBケーブルが必要です。（無線LANの簡単設定を使用する場合は、不要です。）
- ■実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了してから、行ってください。

1 電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする

2 コンピューターの電源を入れる

3 本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

Macintosh の場合は、手順 5 に進みます。

補足

Windows® の場合、画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［Start.exe］をダブルクリックしてください。

4 ［インストール］をクリックする



5 Windows® は、［無線 LAN 設定ウィザード］をクリックする

手順７に進みます。



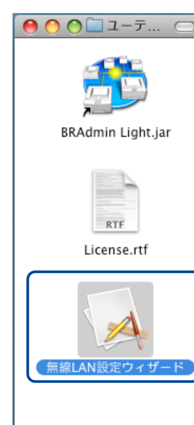
補足

Windows Vista®の場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、［許可］をクリックしてください。
Windows® 7の場合は、［はい］をクリックしてください。

Macintosh は、［ユーティリティ］アイコンをダブルクリックする



6 ［無線 LAN 設定ウィザード］アイコンをダブルクリックする

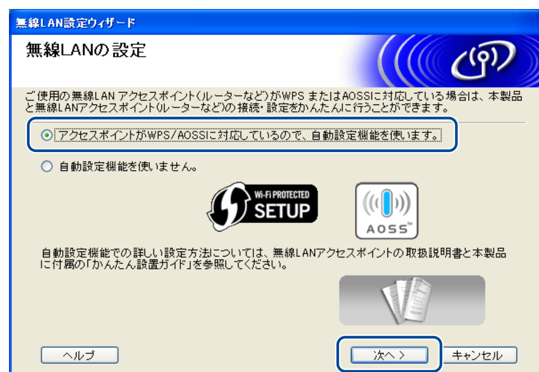




7 無線 LAN アクセスポイントが AOSS™、または WPS に対応していて、無線 LAN の簡単設定を使う場合は、［アクセスポイントが WPS/AOSS に対応しているので、自動設定機能を使います。］を選択し、［次へ］をクリックする

自動設定を使わない場合は、［自動設定機能を使いません。］を選択し、［次へ］をクリックする

Windows®



Macintosh



［自動設定機能を使いません。］を選択した場合、次の 4 つの方法で無線 LAN を設定できます。画面の指示に従って、無線 LAN 設定をしてください。

- 一時的にUSBケーブルを使用して設定を行います（推奨）
- 一時的にLANケーブルを使用して設定を行います
- ケーブルを使用せず、本製品の操作パネルから無線接続ウィザードを使用して設定します
- ケーブルを使用せず、アドホックモードで設定を行います。（上級ユーザー向け）

補足

アドホックモードで設定している場合

- アドホックモードで設定している場合、無線 LAN 設定に切り替わった後に、コンピューターの再起動メッセージが表示されることがあります。この場合は、コンピューターを再起動し、手順3からやり直してください。
- コンピューターの無線LAN設定を変更する
  - Windows® 7の場合
    ① （スタートボタン） －［コントロールパネル］の順にクリックします。
    ②［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックします。
    ③［ネットワークに接続］をクリックします。
    一覧に本製品のSSIDが表示されます。
    ④［SETUP］を選択し、［接続］をクリックします。
    ⑤ ネットワークと共有センター画面で、「識別」アイコンが「不明ネットワーク」のアイコンに変わったら、［ワイヤレスネットワーク接続（SETUP）］をクリックします。
    ⑥［詳細］をクリックし、「ネットワーク接続の詳細」を確認します。
    ⑦ IPアドレスが「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更されます。（xxxは1～254までの数字）
    画面に表示されるまでに数分かかることがあります。
  - Windows Vista®の場合
    ① （スタートボタン） －［コントロールパネル］の順にクリックします。
    ②［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックします。
    ③［ネットワークに接続］をクリックします。
    一覧に本製品のSSIDが表示されます。
    ④［SETUP］を選択し、［接続］をクリックします。
    ⑤［接続します］をクリックし、［閉じる］をクリックします。
    ⑥「ワイヤレスネットワーク接続（SETUP）」の［状態の表示］をクリックします。
    ⑦［詳細］をクリックし、「ネットワーク接続の詳細」を確認します。
    ⑧ IPアドレスが「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更されます。（xxxは1～254までの数字）
    画面に表示されるまでに数分かかることがあります。

- Windows® XP SP2以降のユーザーの場合
  ①［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。
  「コントロールパネル」画面がカテゴリ表示の場合は、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。
  ②［ネットワーク接続］をクリックします。
  ③［ワイヤレス　ネットワーク接続］アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレス　ネットワークの表示］をクリックします。
  一覧に本製品のSSIDが表示されます。
  ④［SETUP］を選択し、［接続］をクリックします。
  ⑤［ワイヤレスネットワーク接続］をダブルクリックし、［サポート］タブをクリックすると IP アドレスが表示されます。
  ⑥ IPアドレスが「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更されます。（xxxは1～254までの数字）
  画面に表示されるまでに数分かかることがあります。
- Macintoshの無線LAN設定を変更する
  ① メニューバーの［AirMac］アイコンをクリックします。
  ②［SETUP］を選択します。
  無線LANに正常に接続されています。

8 画面の指示に従って、無線 LAN の設定をする

補足

無線LAN設定に失敗した場合は、ネットワーク設定をリセットし、再度設定してください。
ネットワーク設定のリセットについては、⇒40ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

OK! 無線 LAN 設定は完了しました。

続いて本製品に付属のドライバー & ソフトウェア CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバーおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

4章

操作パネルで設定する

ネットワークメニュー

操作パネルにある各種ボタンと液晶ディスプレイ（LCD）を使用して、ネットワークを設定する方法について説明します。本製品の操作パネルのボタンを利用することで、コンピューターから操作しなくてもネットワークの各設定項目を設定・変更することができます。
操作パネルの詳しい使い方については、⇒ユーザーズガイド 基本編「操作パネルの名称とはたらき」を参照してください。

1

DCP-7065DN は、＜メニュー＞を押す

手順２に進みます。

MFC-7460DN は、＜メニュー＞→<5> を押す

FAX-7860DW は、＜メニュー＞→<6> を押す

手順２に進みます。

ネットワーク
1.TCP/IP設定

2

DCP-7065DN は、＜▲＞または＜▼＞で「3. ネットワーク」を選択して、<OK> を押す

FAX-7860DW は、＜▲＞または＜▼＞で「1. 有線LAN」（または「2. 無線LAN」）を選択して、<OK> を押す

このようにネットワークのメインメニューへ入ることができます。この章ではネットワークに関する設定について説明しています。

補足

一度ネットワーク上で有効な IP アドレスを本製品に割り当てた後は、お使いのウェブブラウザーからネットワークを通じてすべての設定項目を変更可能です。また、本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM 内に収録されている BRAdmin Light、ウェブブラウザー、またはリモートセットアップ（MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ）を、ご使用いただくことで同様に設定が可能です。詳しくは、⇒13ページ「その他の管理ユーティリティ」を参照してください。

TCP/IPの設定

TCP/IPを使用して印刷するには、本製品にIPアドレスとサブネットマスクを設定します。ルーターの先に本製品が接続されている場合は、ルーターのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

補足

本製品の初期設定は、次の通りです。

- IPアドレス：169.254.x.x（APIPA機能による自動割当）

注意

DHCP、BOOTP、RARPまたはAPIPA機能を使用しない場合は、自動的にIPアドレスを取得しないように、IPの取得方法をStatic（手動）に設定します。⇒36ページ「IP取得方法」を参照してください。

IP取得方法

1 **DCP-7065DNは、<メニュー>を押す**

手順3に進みます。

MFC-7460DNは、<メニュー>→<5>→<1>→<1>を押す

手順6に進みます。

FAX-7860DWは、<メニュー>→<6>を押す

手順2に進みます。

2 **<▲>または<▼>で「1. 有線LAN」（または「2. 無線LAN」）を選択して、<OK>を押す**

手順4に進みます。

3 **<▲>または<▼>で「3. ﾈｯﾄﾜｰｸ」を選択して、<OK>を押す**

4 **<▲>または<▼>で「1. TCP/IP設定」を選択して、<OK>を押す**

5 **<▲>または<▼>で「1. IP取得方法」を選択して、<OK>を押す**

6 **<▲>または<▼>を押して「Auto」、「Static」、「RARP」、「BOOTP」、または「DHCP」のいずれかを選択する**

```
IP取得方法
Auto         *
```

お買い上げ時は「Auto」になっています。

7 **<OK>を押す**

- IPの取得方法の設定が登録されます。
- 「Auto」、「RARP」、「BOOTP」、または「DHCP」のいずれかを選択した場合は、手順8に進みます。
- 「Static」を選択した場合は、手順9に進みます。

8 **IPアドレスの取得を試みる回数を設定して、<OK>を押す**

お買い上げ時の設定は「00003」です。IPアドレスの取得に失敗する場合は、設定回数を0～32767の範囲で大きくします。

9 **<停止/終了>を押す**

設定メニューを終了します。

補足

- IP 取得方法を「Auto」に設定すると、「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」の順にネットワーク内の IP アドレス配布サーバーを探して、IPアドレスを取得します。これらのサーバーが見つからなかった場合は、「APIPA」機能により、IPアドレスが自動的に割り当てられます。
- IP 取得方法は、BRAdmin　Light、ウェブブラウザー、またはリモートセットアップ（MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ）を使用しても変更することができます。

IPアドレス

本製品の現在のIPアドレスが表示されます。IPアドレスを変更する場合は、IP取得方法をStatic（手動）に指定してください。また、IPアドレスを手動で設定した場合は、IP取得方法は自動的にStatic（手動）になります。設定するIPアドレスについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。
Static以外のIP取得方法が選ばれている場合は、DHCP、RARPまたはBOOTPのプロトコルを使用してIPアドレスを自動的に取得します。

サブネットマスク

本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。DHCP、RARPまたはBOOTP、APIPAを使用していない場合は、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ゲートウェイ

本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。DHCP、RARPまたはBOOTP、APIPAを使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイやルーターを使用しない場合はお買い上げ時の設定（000.000.000.000）にしておいてください。アドレスが不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

ノード名（NetBIOS名）

ノード名をネットワークに登録するために使用します（WINSサーバーに登録されているNetBIOS名になります）。
お買い上げ時のノード名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”となっています。（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

WINS設定

本製品がWINSをどのように解決するかを設定します。お買い上げ時は「Auto」になっています。

● Auto

DHCPサーバーから自動的にプライマリ、セカンダリのWINSサーバーアドレスを取得します。DHCPサーバーが起動している状態で「IP取得方法」が「Auto」または「DHCP」に設定されている必要があります。

● Static

手動でWINSサーバーアドレスを設定します。

WINSサーバー

WINSサーバーの設定をします。

● プライマリ WINS サーバー IP アドレス

プライマリWINS（Windows® Internet Name Service）サーバーのIPアドレスを登録します。
0以外の値が設定されている場合、本製品はプライマリWINSサーバーのIPアドレスとしてその値を登録します。

● セカンダリ WINS サーバー IP アドレス

セカンダリWINS（Windows® Internet Name Service）サーバーのIPアドレスを登録します。セカンダリWINSサーバーはプライマリWINSサーバーの機能の一部を補完し、プライマリサーバーが見つからないときに機能します。
0以外の値が設定されている場合、本製品はセカンダリWINSサーバーのIPアドレスとしてその値を登録します。
ネットワーク内にセカンダリのWINSサーバーが存在しない場合は入力しなくても構いません。

DNSサーバー

DNS（ドメインネームシステム)サーバーの設定をします。

● プライマリ DNS サーバー IP アドレス

プライマリDNS（ドメインネームシステム）サーバーのアドレスを指定します。

● セカンダリ DNS サーバー IP アドレス

セカンダリDNSサーバーのアドレスを指定します。セカンダリDNSサーバーはプライマリDNSサーバーの機能の一部を補完し、プライマリサーバーが見つからない場合に機能します。

ネットワークのトラフィックが大きい環境で使用する場合に設定してください。

ネットワーク内にセカンダリのDNSサーバーが存在しない場合は入力しなくても構いません。

APIPA

IP取得方法が「Static」以外のときで、「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」のいずれからもIPアドレスが取得できなかった場合、APIPAの設定を「オン」にすると、169.254.1.0から169.254.254.255の範囲でIPアドレスが自動的に割り当てられます。「オフ」に設定した場合は、IPアドレスを手動で設定してください。

IPv6

本製品は次世代インターネットプロトコルIPv6に対応しています。IPv6プロトコルを使用する場合は、「オン」に設定してください。お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。IPv6 プロトコルの詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））をご覧ください。

イーサネットの設定（有線LANのみ）

イーサネットの転送速度を設定します。
この設定の変更を有効にするためには、本製品を再起動する必要があります。



誤った設定をした場合、本製品にアクセスできなくなることがあります。

● Ethernet リンクモードについて

Auto：

100BASE-TX（全二重/半二重）、10BASE-T（全二重/半二重）モードを自動的に選択します。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：

それぞれのリンクモードに固定されます。

- 100B-FD　：100BASE-TX Full Duplex
- 100B-HD　：100BASE-TX Half Duplex
- 10B-FD　：10BASE-T Full Duplex
- 10B-HD　：10BASE-T Half Duplex

有線LANの状態

有線LANをお使いの場合、現在の接続状態、通信速度を確認できます。



- 「未接続」が表示された場合は、再度接続の設定を確認してください。
- 「有線LAN オフ」が表示された場合は、有線LANを有効にしてください。詳しくは、⇒39ページ「有線LAN有効（FAX-7860DWのみ）」を参照してください。

セットアップウィザードで設定する（FAX-7860DWのみ）

本製品の操作パネルからウィザード形式で無線LANを設定することができます。詳しくは、かんたん設置ガイド、または⇒23ページ「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」を参照してください。

本ガイドの使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルで設定する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

WPS／AOSS™方式で設定する（FAX-7860DWのみ）

無線LANアクセスポイントがAOSS™、またはWPS（Wi-Fi Protected Setup）（PBC※方式）のどちらかに対応している場合は、コンピューターを使用しないで、簡単に本製品の無線LAN設定をすることができます。詳しくは、かんたん設置ガイド、または⇒22ページ「操作パネルと無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する」を参照してください。

※ Push Button Configuration

WPS（Wi-Fi Protected Setup）PIN方式で設定する（FAX-7860DWのみ）

無線LANアクセスポイントがWPS（Wi-Fi Protected Setup）（PIN※方式）に対応している場合は、PIN方式を利用して簡単に本製品の無線LAN設定をすることができます。詳しくは、⇒26ページ「WPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式を使用する」を参照してください。

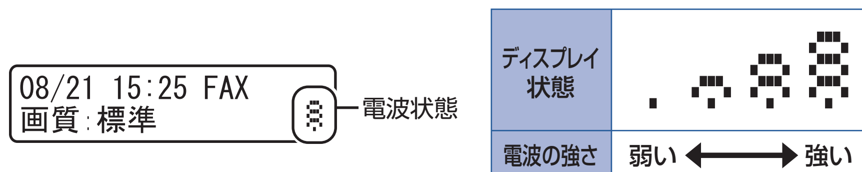
※ Personal Identification Number（個人識別番号）

無線LANの状態（FAX-7860DWのみ）

無線LANをお使いの場合、次の状態を確認できます。

- **接続状態**
  無線LANをお使いの場合、接続状態を表示します。
- **電波状態**
  無線LANをお使いの場合、電波状態を表示します。
- **SSID**
  無線LANをお使いの場合、SSIDを表示します。
- **通信モード**
  無線LANをお使いの場合、通信モードを表示します。

また液晶ディスプレイに、本製品の電波状態が表示されます。



MACアドレス

本製品の現在のMACアドレス（イーサネットアドレス）を確認できます。MACアドレスとは、本製品のネットワークインターフェイスに割り当てられたアドレス番号です。MACアドレスの変更はできません。

ネットワーク設定のリセット

有線LAN、または無線LAN設定（FAX-7860DWのみ）をお買い上げ時の設定に初期化します。
また、有線LANと無線LAN設定を同時にお買い上げ時の設定に初期化することもできます。詳しくは、⇒40ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

有線LAN有効（FAX-7860DWのみ）

本製品を有線LANに接続して使用する場合は、「ｵﾝ」に設定してください。

無線LAN有効（FAX-7860DWのみ）

本製品を無線LANに接続して使用する場合は、「ｵﾝ」に設定してください。

補足

有線LANと無線LANが両方とも有効な場合は、LANケーブルを抜く、または差し込むことで、お使いのネットワークに切り替わります。有線LANと無線LANを同時に使用することはできません。

スキャン to FTPの初期設定を変更する（MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ）

本製品のスキャン機能のうち、スキャン to FTPでは、解像度とファイル形式の初期設定を変更することができます。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」を参照してください。

ネットワーク設定のリセット

現在のネットワーク設定をすべてお買い上げ時の設定に初期化できます。

- DCP-7065DN、MFC-7460DNは、有線LAN設定を初期化します。
- FAX-7860DWは、有線LANおよび無線LAN設定を初期化します。

補足

- ●この設定では、IPアドレスやメールアドレスなど、すでに設定しているネットワークのすべての情報を初期化します。有線LANと無線LANの設定については、個別に初期化することができます。有線LAN、または無線LANの初期化については次項を参照してください。
- ●BRAdminアプリケーション、またはウェブブラウザーを使用してもネットワーク設定のリセットができます。詳しくは、⇒13ページ「その他の管理ユーティリティ」を参照してください。

1 **DCP-7065DN は、＜メニュー＞を押す**

手順 2 に進みます。

MFC-7460DN は、＜メニュー＞→ <5> → <0> を押す

手順 4 に進みます。

FAX-7860DW は、＜メニュー＞→ <6> → <0> を押す

手順 4 に進みます。

2 **＜▲＞または＜▼＞で「3. ﾈｯﾄﾜｰｸ」を選択して、<OK> を押す**

3 **＜▲＞または＜▼＞で「0. ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾘｾｯﾄ」を選択して、<OK> を押す**

4 **ネットワーク設定を初期化する場合、**
DCP-7065DN は、＜▲＞を押す
MFC-7460DN、FAX-7860DW は、<1> を押す

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾘｾｯﾄ
1. 決定  2. ｷｬﾝｾﾙ
```

- 「再起動しますか？」と表示されます。
- ネットワーク設定の初期化をキャンセルしたい場合、DCP-7065DNは<▼>を、MFC-7460DN、FAX-7860DWは<2>を押してください。

5 **本製品を再起動する場合、**
DCP-7065DN は、＜▲＞を押す
MFC-7460DN、FAX-7860DW は、<1> を押す

- 「お待ちください」と表示され、ネットワーク設定が初期化されると、本製品が数秒後に再起動します。
- 再起動しない場合、DCP-7065DNは<▼>を、MFC-7460DN、FAX-7860DWは<2>を押してください。

有線LAN/無線LAN設定のリセット（FAX-7860DWのみ）

現在の有線LAN設定、または無線LAN設定をすべてお買い上げ時の設定に初期化できます。

有線LAN設定の初期化

1 **<メニュー>→<6>→<1>→<5>を押す**

```
有線LAN
5.初期設定に戻す
```

2 **有線LAN設定を初期化する場合は、<1>を押す**

- 有線LAN設定が初期化されます。
- 有線LAN設定の初期化をキャンセルしたい場合は、<2>を押してください。

無線LAN設定の初期化

1 **<メニュー>→<6>→<2>→<7>を押す**

```
無線AN
7.初期設定に戻す
```

2 **無線LAN設定を初期化する場合は、<1>を押す**

- 無線LAN設定が初期化されます。
- 無線LAN設定の初期化をキャンセルしたい場合は、<2>を押してください。

ネットワーク設定リストの出力

現在のネットワークに関する設定内容を印刷できます。

補足

ノード名（NetBIOS名）：ネットワーク設定リストにはノード名が表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”となっています。（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

1 **DCP-7065DN は、＜メニュー＞を押す**

手順２に進みます。

MFC-7460DN は、＜メニュー＞→ <4> → <7> を押す

手順４に進みます。

FAX-7860DW は、＜メニュー＞→ <5> → <7> を押す

手順４に進みます。

2 **＜▲＞または＜▼＞で「4．製品情報」を選択して、<OK> を押す**

3 **＜▲＞または＜▼＞で「4．ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾘｽﾄ」を選択して、<OK> を押す**

4 **＜スタート＞を押す**

ネットワーク設定リストが印刷されます。

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾘｽﾄ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください
```

5 **＜停止 / 終了＞を押す**

補足

ネットワーク設定リストのIPアドレスが「0.0.0.0」と印刷された場合は、本製品がまだ起動中です。1分後に操作をやり直してください。

無線LANレポートの出力（FAX-7860DWのみ）

現在の無線LANに関する設定内容を印刷できます。
無線LAN接続ができない場合は、印刷された無線LANレポートでエラーコードを確認してください。エラーコードの詳細については、かんたん設置ガイド「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

1 **＜メニュー＞→ <5> → <8> を押す**

2 **＜スタート＞を押す**

無線 LAN レポートが印刷されます。

```
無線LANﾚﾎﾟｰﾄ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください
```

お買い上げ時のLAN設定

お買い上げ時の設定は、下線で示しています。

DCP-7065DN

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目
3. ネットワーク	1. TCP/IP設定	1. IP取得方法	Auto Static RARP BOOTP DHCP ※「Static」以外を選択した場合は、IPアドレスの取得を試みる回数（00000-32767）の入力を要求されます。
		2. IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
		3. サブネット マスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
		4. ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
		5. ノード名	BRNxxxxxxxxxxxx（32文字以内）
		6. WINS設定	Auto Static
		7. WINS サーバー	プライマリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000) セカンダリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
		8. DNS サーバー	プライマリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000) セカンダリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
		9. APIPA	オン オフ
		0. IPv6	オン オフ
	2. イーサネット	–	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD
	3. 接続状態	–	アクティブ 100B-FD アクティブ 100B-HD アクティブ 10B-FD アクティブ 10B-HD 未接続 有線LAN オフ
	4. MACアドレス	–	–
	0. ネットワーク設定リセット	–	▲ 決定 ／ ▲ はい ▼ いいえ
		–	▼ キャンセル ／ –

MFC-7460DN

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目
5. ネットワーク	1. TCP／IP設定	1. IP取得方法	Auto Static RARP BOOTP DHCP ※「Static」以外を選択した場合は、IPアドレスの取得を試みる回数（00000-32767）の入力を要求されます。
		2. IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
		3. サブネット マスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
		4. ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
		5. ノード名	BRNxxxxxxxxxxxx（32文字以内）
		6. WINS設定	Auto Static
		7. WINS サーバー	プライマリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000) セカンダリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
		8. DNS サーバー	プライマリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000) セカンダリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
		9. APIPA	オン オフ
		0. IPv6	オン オフ
	2. イーサネット	–	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD
	3. 接続状態	–	アクティブ 100B-FD アクティブ 100B-HD アクティブ 10B-FD アクティブ 10B-HD 未接続 有線LAN オフ
	4. MACアドレス	–	–

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	
5. ネットワーク	5. スキャン to FTP	–	カラー100dpi カラー200dpi カラー300dpi カラー600dpi グレー100dpi グレー200dpi グレー300dpi モノクロ200dpi モノクロ200X100dpi	(カラー/グレーを選んだ場合) PDF セキュリティPDF JPEG XPS (モノクロを選んだ場合) PDF セキュリティPDF TIFF
	0. ネットワーク設定 リセット	–	1. 決定	1. はい 2. いいえ
		–	2. キャンセル	–

FAX-7860DW

お買い上げ時の設定は、下線で示しています。

メインメニュー	サブメニュー	サブサブメニュー	メニュー選択	選択項目
6. ネットワーク	1. 有線LAN	1. TCP/IP設定	1. IP取得方法	Auto Static RARP BOOTP DHCP ※「Static」以外を選択した場合は、IPアドレスの取得を試みる回数（00000-32767）の入力を要求されます。
			2. IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			3. サブ ネット マスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			4. ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			5. ノード名	BRNxxxxxxxxxxxx（32文字以内）
			6. WINS設定	Auto Static
			7. WINS サーバー	プライマリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000) セカンダリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			8. DNS サーバー	プライマリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000) セカンダリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			9. APIPA	オン オフ
			0. IPv6	オン オフ
		2. イーサネット	–	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD
		3. 有線LAN状態	–	アクティブ 100B-FD アクティブ 100B-HD アクティブ 10B-FD アクティブ 10B-HD 未接続 有線LAN オフ
		4. MACアドレス	–	–
		5. 初期設定に戻す	–	1. 決定
			–	2. キャンセル
		6. 有線LAN有効	–	オン オフ

メイン メニュー	サブ メニュー	サブサブ メニュー	メニュー 選択	選択項目
6. ネットワーク	2. 無線LAN	1. TCP/IP 設定	1. IP取得方法	Auto Static RARP BOOTP DHCP ※「Static」以外を選択した場合は、IPアドレスの取得を試みる回数（00000-32767）の入力を要求されます。
			2. IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			3. サブ ネット マスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			4. ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			5. ノード名	BRWxxxxxxxxxxxx（32文字以内）
			6. WINS設定	Auto Static
			7. WINS サーバー	プライマリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000) セカンダリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			8. DNS サーバー	プライマリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000) セカンダリ [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			9. APIPA	オン オフ
			0. IPv6	オン オフ
		2. 無線接続ウィザード	–	–
		3. WPS/AOSS	–	–
		4. WPS（PIN方式）	–	–
		5. 無線状態	1. 接続状態	アクティブ（11b） アクティブ（11g） 有線LAN アクティブ 無線LAN オフ AOSS アクティブ 接続失敗
			2. 電波状態	電波：強い 電波：普通 電波：弱い 電波：なし
			3. SSID	–
			4. 通信モード	アドホック インフラストラクチャ
		6. MACアドレス	–	–

メインメニュー	サブメニュー	サブサブメニュー	メニュー選択	選択項目	
6．ネットワーク	2．無線LAN	7．初期設定に戻す	－	1．決定	
			－	2．キャンセル	
		8．無線LAN有効	－	オン オフ	
	3．スキャン to FTP	－	－	カラー100dpi カラー200dpi カラー300dpi カラー600dpi グレー100dpi グレー200dpi グレー300dpi モノクロ200dpi モノクロ200X100dpi	（カラー/グレーを選んだ場合） PDF セキュリティPDF JPEG XPS （モノクロを選んだ場合） PDF セキュリティPDF TIFF
	0．ネットワーク設定リセット	－	－	1．決定	1．はい 2．いいえ
				2．キャンセル	－

5章

ウェブブラウザーで管理する

概要

標準のウェブブラウザーで、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用して、ネットワークに接続されている本製品を管理することができます。
Windows®の場合はMicrosoft® Internet Explorer® 6.0以降またはFirefox 3.0以降、Macintoshの場合はSafari 3.0以降を推奨します。

補足
- どのウェブブラウザーの場合も、JavaScriptおよびCookieを有効にして使用してください。
- 他のウェブブラウザーを使用する場合は、HTTP 1.0およびHTTP 1.1と互換性があることを確認してください。

ウェブブラウザーを使用して、本製品から次の情報を取得したり、設定したりすることができます。
- 本製品のステータス、設定、メンテナンスに関する詳細情報の取得
- ファクスの基本設定や電話帳、リモートFAX設定の変更（MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ）
- 本製品とプリントサーバーのソフトウェアバージョン情報の取得
- 本製品の設定変更
- ネットワークの設定変更
- ネットワーク設定リストの印刷
- ネットワーク設定リセット
- セキュリティ機能ロック2.0の設定（FAX-7860DWのみ）
- スキャン to FTPの設定（MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ）

● 条件

本製品とコンピューターのTCP/IP設定が完了していること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピューターがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ウェブブラウザーを起動し、本製品のIPアドレスまたはノード名（NetBIOS名）を入力します。

ウェブブラウザーを使用して本製品を設定する

標準のウェブブラウザーで、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用し、プリントサーバーなどの設定を変更することができます。

1 ウェブブラウザーを起動する

2 ウェブブラウザーのアドレス入力欄に、http://XXXXX/ を入力する

- ［XXXXX］はご使用になる本製品のIPアドレスです。



例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
　ウェブブラウザーに http://192.168.1.3/ と入力します。

- 本製品のIPアドレスの確認は、⇒37ページ「IPアドレス」を参照してください。
- Windows®のドメイン/ワークグループ環境の場合は、ノード名（NetBIOS名）を使用することもできます。
- DNSを使用している場合は、DNS名を入力します。

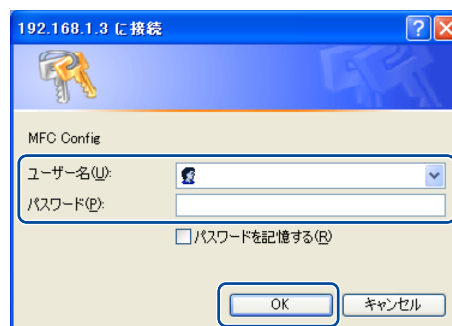
3 目的の管理機能へのリンクをクリックする

ネットワークの設定を表示または変更する場合は、［ネットワーク設定］をクリックします。



4 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。



5 必要に応じて設定を変更する

補足

- プロトコル設定を変更した場合は、変更内容を有効にするため［OK］をクリックして、画面の指示に従って本製品を再起動してください。
- hosts ファイルを編集した場合や、または DNS サーバーを使用している場合は、IP アドレスではなく、本製品に割り当てた名前（例：Shared_Printer）を入力します。また、本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているためIPアドレスではなく、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。NetBIOS名は、ネットワーク設定リストで確認できます。ネットワーク設定リストを印刷するには、⇒ 42 ページ「ネットワーク設定リストの出力」を参照してください。NetBIOS名は、ノード名の最初の15文字が割り当てられます。お買い上げ時のNetBIOS名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”となっています。(「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。)
- Mac OS X ユーザーの方は、ステータスモニターの本製品アイコンをクリックしてウェブブラウザーを起動することで、本製品にアクセスすることができます。
  詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「ステータスモニターを起動する」を参照してください。

パスワードについて

ウェブブラウザーでは、2 段階のパスワードによる管理が可能です。一般ユーザーで管理できるのは「基本設定」、「ファクス設定（MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ)」、「コピー設定」、「プリンター設定（FAX-7860DWのみ)」です。

● 一般ユーザー

ユーザー名：user
パスワード：access

管理者用のパスワード管理では、すべての機能を管理できます。

● 管理者

ユーザー名：admin
パスワード：access

セキュリティ機能ロック2.0（FAX-7860DWのみ）

ウェブブラウザーを使用してユーザーの名前（ID）とパスワードを登録することで、ユーザーごとに利用できる以下の機能をそれぞれ制限することができます。

- PCプリント※
- コピー
- 印刷枚数の制限
- ファクス送信
- ファクス受信
- スキャン
- ページカウンター

※ コンピューターのログイン名が登録してある場合は、パスワードを入力することなく、プリントの制限をすることができます。
詳しくは、⇒55ページ「コンピューターのログイン名でプリントを制限する」を参照してください。

受信したファクスを印刷せずにメモリに蓄積し、管理者やマネージャーだけが印刷できるようにすることで、見積書や財務情報などの管理も安心です。また、印刷枚数を制限することで不正な出力を防止し、経費削減にもつながります。

補足
セキュリティ機能ロック2.0は、BRAdmin Professionalでも設定することができます。

セキュリティ機能ロック2.0を設定する

基本設定

1 **ウェブブラウザーを起動する**

2 **ウェブブラウザーのアドレス入力欄に、http://XXXXX/ を入力する**

- ［XXXXX］はご使用になる本製品のIPアドレスです。

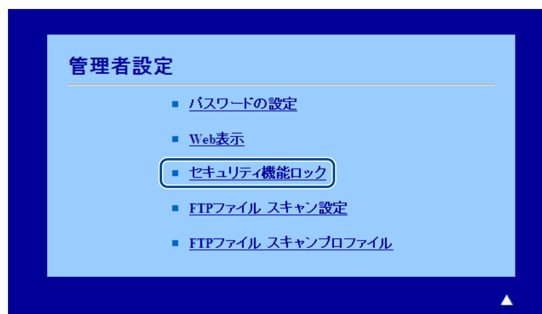


例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
ウェブブラウザーに http://192.168.1.3/ と入力します。

- 本製品のIPアドレスの確認は、⇒37ページ「IPアドレス」を参照してください。
- Windows®のドメイン/ワークグループ環境の場合は、ノード名（NetBIOS名）を使用することもできます。
- DNSを使用している場合は、DNS名を入力します。

3 **本製品のウェブページから［管理者設定］－［セキュリティ機能ロック］をクリックする**

［管理者設定］をクリックした後、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示された場合は、［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックします。
お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。



4 「セキュリティ機能ロック」から［オン］を選択する

補足

- ●ウェブサーバーを経由してセキュリティ機能ロック 2.0 を設定するには、ネットワーク管理者のパスワード（4桁の数字）を入力してください。
- ●設定されているネットワーク管理者のパスワードを変更したい場合は、［管理者パスワード］をブランク（未設定）にしてください。

5 ［制限 ID 番号 /ID 名］と［パスワード］を入力する

- 14文字まで登録できます。
- 同じユーザー名は登録できません。
- パスワードは4桁の数字で入力します。

6 制限したい機能のチェックを外す

印刷枚数を制限する場合は、［枚数制限　オン］をチェックし最大印刷可能枚数を入力してください。

7 ［OK］をクリックして、ウェブブラウザーを閉じる

セキュリティ機能ロック2.0を使用してスキャンする

ネットワーク管理者は、セキュリティ機能ロック 2.0 を使用して、スキャンできるユーザーを制限することができます。セキュリティ機能ロック2.0の基本画面で、「その他」－「スキャン」のチェックボックスにチェックを入れたユーザーのみがスキャン機能を使用できます。本製品の操作パネルの<スキャン>を押してスキャンする場合、スキャンモードにアクセスするために、本製品の操作パネルでパスワードを入力しなければなりません。（一般ユーザーの場合は、パスワードの入力は不要です。）
コンピューターからスキャンする場合、制限されたユーザーはコンピューターからスキャンする前に、本製品の操作パネルでパスワードを入力しなければなりません。本製品の操作パネルからパスワードが入力されない場合は、コンピューターにエラーメッセージが表示されます。

コンピューターのログイン名でプリントを制限する

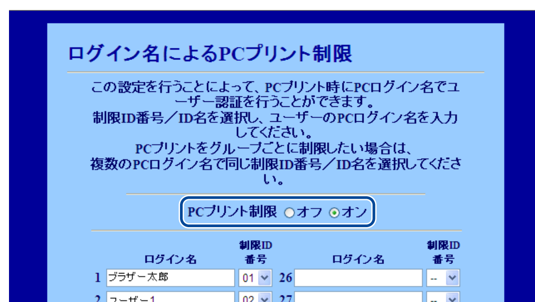
コンピューターへログインするために使用しているユーザー名で、プリント制限の認証を行うことができます。

1 **セキュリティ機能ロックの基本画面から［ログイン名による PC プリント制限］をクリックする**



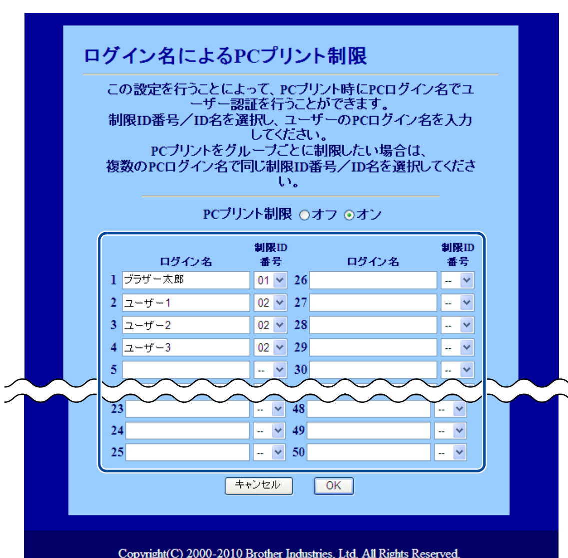
2 **「PC プリント制限」から［オン］を選択する**

補足
PCログイン名を使用する場合は、プリンタードライバーでの設定も必要です。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「ユーザー認証（FAX-7860DW のみ）」を参照してください。



3 **［ログイン名］を入力し、「セキュリティ機能ロック」で登録した［制限 ID 番号］を選択する**

補足
一つの［制限ID番号］にグループとして複数の［ログイン名］を登録することも可能です。



4 **［OK］をクリックして、ウェブブラウザーを閉じる**

補足

- 1グループ単位でPCプリントを制限したい場合は、各ログインユーザー名で同じ制限ID番号を選択してください。
- PC プリント時のユーザー認証にログインユーザー名を使用する場合は、プリンタードライバーの「ユーザー認証」で「ログイン ユーザー名を使う」を選択する必要があります。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「ユーザー認証（FAX-7860DWのみ）」を参照してください。

一般モードの設定

一般ユーザーが利用できる機能を制限するためには、一般モードを設定します。
一般ユーザーがこの機能で利用可能に設定された機能を使用する場合は、パスワードを入力する必要はありません。

1 **「セキュリティ機能ロック」の基本画面から［一般モード］の機能制限したい項目のチェックボックスのチェックを外す**

2 **［OK］をクリックする**

本ガイドの使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルで設定する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

その他の設定



以下の設定をする

① カウンター自動リセット設定

定期的にページカウンターをリセットするための設定をします。

② カウンターリセット

すべてのページカウンターを「0」にします。

③ 印刷・その他

機能を制限するときにチェックボックスのチェックを外します。
印刷枚数を制限する場合は、［ 枚数制限　オン ］をチェックし最大印刷可能枚数を入力してください。

④ 前回ログ参照

ページカウンターがリセットされる以前のログを表示します。

⑤ CSV ファイルへ出力

制限 ID 番号 /ID 名と現在のページカウンターの情報をエクスポートします。

管理者設定
パスワードの設定 | Web表示
FTPファイル スキャンプロファイル | FTPファイル スキャン設定 | セキュリティ機能ロック

セキュリティ機能ロック

セキュリティ機能ロック　○オフ　◉オン　[カウンター自動リセット設定] ①
管理者パスワード　●●●●　時計設定
パスワードの確認　●●●●　[ログイン名によるPCプリント制限]

制限ID番号/ID名		パスワード	印刷 PCプリント	印刷 コピー	印刷 枚数制限 オン	印刷 枚数制限 Max.	その他 ファクス送信	その他 ファクス受信	その他 スキャン	ページカウンター [カウンターリセット] ② 合計
	一般モード		☐	☐	☐		☑	☑	☑	0
1	マネージャー	1234	☑	☑	☑	100	☑	☑	☑	0
2	正社員1	5678	☑	☑	☑	50	☑	☑	☑	0
3	正社員2	9123	☑	☑	☑	25	☑	☑	☑	0
4	正社員3	4567	☑	☑	☑	25	☑	☑	☑	0
5	アルバイト1	8912	☑	☑	☑	75	☑	☑	☑	0
6	アルバイト2	3456	☑	☑	☑	75	☑	☑	☑	0
24			☑	☑	☐		☑	☑	☑	0
25			☑	☑	☐		☑	☑	☑	0

③

[前回ログ参照] ④
[CSVファイルへ出力] ⑤

[キャンセル]　[OK]

ウェブブラウザーを使用してスキャン to FTPを設定する（MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ）

スキャン to FTPは、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたFTPサーバー上に保存する機能です。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「FTPの保存先を登録する」を参照してください。

1 ウェブブラウザーを起動する

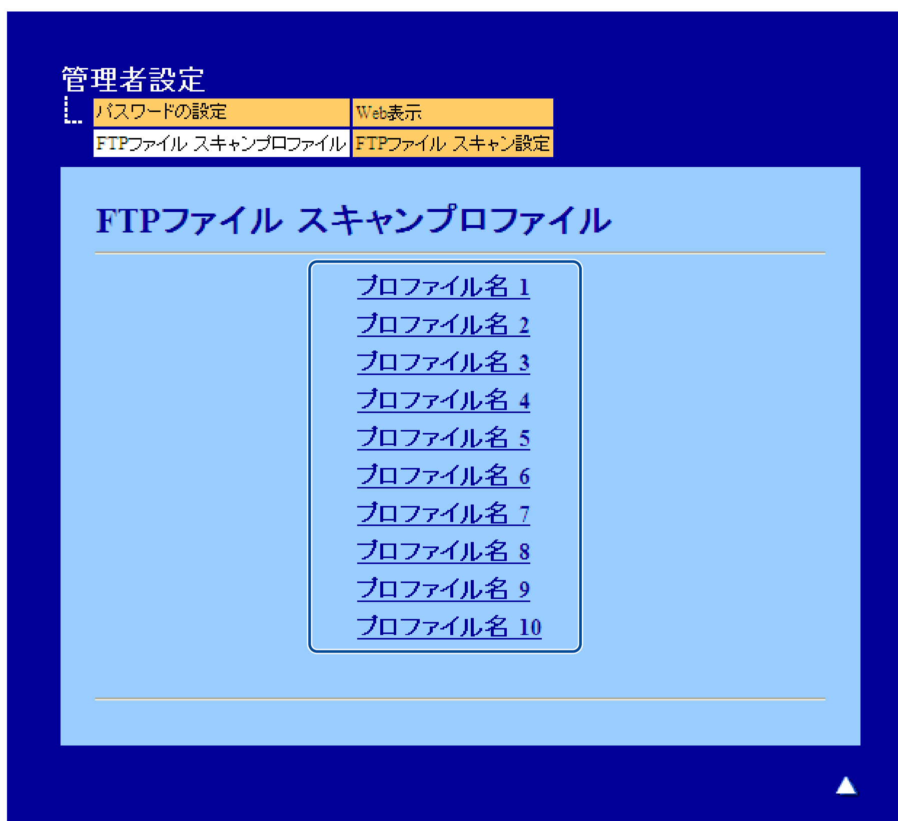
2 ウェブブラウザーのアドレス入力欄に http://XXXXX/ を入力する

［XXXXX］はご使用になる本製品の IP アドレスです。
例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
　ウェブブラウザーに http://192.168.1.3/ と入力します。

3 本製品のウェブページから［管理者設定］－［FTP ファイル スキャンプロファイル］をクリックする

［管理者設定］をクリックした後、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示された場合は、［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックします。
お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

4 スキャン to FTP 設定に使用するためのプロファイル名（1 ～ 10）のいずれかをクリックする



5 必要に応じて下記の設定を行い、[OK] をクリックする

- プロファイル名の入力（14文字以内）
- FTPサーバーのドメイン名（IPアドレス）の入力
- ユーザー名の入力
- パスワードの入力
- パスワードの確認
- 転送先フォルダー名の入力
- 保存するファイル名の選択
  ファイル名は、あらかじめ用意されている7種類、またはオリジナルの2種類から選ぶことができます。オリジナルファイル名の登録方法は、⇒59ページ「オリジナルファイル名を登録する」を参照してください。
- 画質の選択
- 画像形式（ファイルタイプ）の選択
- 画像解像度（ファイルサイズ）の選択
- パッシブモードの設定
- ポート番号の設定

補足

- パッシブモードは、FTP サーバーとネットワークファイアウォールにより、[オフ]、または [オン] に設定することができます。
  パッシブモードの初期設定は [オン] です。
- ポート番号もFTPサーバーで変更することができます。
  ポート番号の初期設定は [21] です。
- ほとんどの場合、パッシブモードとポート番号の設定の必要はありませんが、FTP サーバーの設定をご確認ください。
- スキャン to FTPは、ウェブブラウザーを使って FTP サーバーのプロファイルを設定したときに使用することができます。

オリジナルファイル名を登録する

ファイル名は、用意されている7種類の他に好みのものを2種類登録できます

1 本製品のウェブページから [管理者設定] － [FTP ファイル スキャン設定] をクリックする

[管理者設定] をクリックした後、[ユーザー名] と [パスワード] を入力する画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
お買い上げ時のユーザー名は "admin" で、パスワードは "access" に設定されています。

2 オリジナルファイル名の入力欄に登録したいファイル名を入力し、[OK] をクリックする

- ファイル名は半角英数字で15文字まで入力できます。

6章

セキュリティ機能

概要

コンピューターをネットワークに接続していると、悪意のある第三者によって不正にネットワークにアクセスされてデータや機密情報が読み取られてしまうなどの危険性があります。
本製品は、最新のネットワークセキュリティおよび暗号化プロトコルを使用して、機器への不正アクセスを防止する機能を搭載しています。
この章では、本製品がサポートしているセキュリティプロトコルやその設定方法について説明します。

以下のセキュリティ管理をすることができます。

● 安全に E メールを送信する

詳しくは、⇒63ページ「安全なEメールの送信」を参照してください。

● BRAdmin Professional を使って、本製品を安全に管理をする

詳しくは、⇒66ページ「BRAdmin Professionalを使って安全に管理する（Windows®のみ）」を参照してください。

補足

- FTP、TFTPプロトコルを無効にしてください。これらのプロトコルを使って機器にアクセスすることは、セキュリティ上安全ではありません。プロトコルの設定方法については、⇒62ページ「プロトコルを設定する」を参照してください。
- FTPプロトコルが使用できない場合は、スキャン to FTP機能は使用できません。

プロトコルを設定する

ウェブブラウザーを使って、各プロトコルおよびセキュリティ方法を有効または無効にできます。

補足
- Windows®の場合はMicrosoft® Internet Explorer® 6.0以降またはFirefox 3.0以降、Macintoshの場合はSafari 3.0以降をおすすめします。
- どのウェブブラウザーの場合も、JavaScriptおよびCookieを有効にして使用してください。
- 上記以外のウェブブラウザーを使用する場合は、HTTP1.0とHTTP1.1に互換性があるかを確認してください。
- ウェブブラウザーを使用するには、本製品のIPアドレスが必要です。

1 ウェブブラウザーを起動する

2 ウェブブラウザーのアドレス入力欄に http://XXXXX/ を入力する

［XXXXX］はご使用になるプリンターの IP アドレスです。

例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.2 の場合
　　ブラウザーに http://192.168.1.2/ を入力します。

補足
hostsファイルを編集した場合や、DNS（ドメインネームシステム）を使用している場合は、IPアドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているため、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。
NetBIOS名は、ネットワーク設定リストに表示されます。ネットワーク設定リストの印刷方法については、⇒42ページ「ネットワーク設定リストの出力」を参照してください。
お買い上げ時のNetBIOS名は、ノード名（有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”）と同じです。
（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

3 本製品のウェブページから［ネットワーク設定］をクリックする

4 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは、“access”に設定されています。

5 ［プロトコル設定］をクリックする

6 必要に応じてプロトコルの設定を変更する

7 設定を変更した場合は、［OK］をクリックする

再起動を促す画面が表示された場合、［YES］をクリックしてください。再起動後、設定が変更されます。

安全なEメールの送信

ユーザー認証を必要とするSMTPサーバーを経由してEメール通達機能を使用するには、「POP before SMTP」/「SMTP-AUTH」の認証方法を使用する必要があります。これらの設定はウェブブラウザーで設定することができます。
「POP before SMTP」/「SMTP-AUTH」の認証方法は、無許可のユーザーがメールサーバーに不正にアクセスしたり、Eメールデータが読み取られることを防ぎます。詳細については、ウェブブラウザーのPOP3/SMTP設定のヘルプ を参照してください。
設定後にテストメールを送信し、Eメール設定が正しいことを確認してください。

補足

POP3/SMTP認証の設定をEメールサーバーのいずれかに合わせる必要があります。使用前の設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。Eメール通達機能は、ウェブブラウザーから本製品にアクセスし、［Eメール通達（エラー情報）］から設定してください。

Eメール通達機能について

Eメール通達機能では、あらかじめ登録しておいたネットワーク管理者に、本製品の状態やトラブルが起きたときにその内容をEメールでお知らせすることができます。
例えば、トナー切れや紙づまりが起きたときなどに、登録しておいたメールアドレスにお知らせメールが届きます。

Eメール通達機能を利用するには、メールアドレスとSMTPサーバーの設定が必要です。使用している環境に応じて設定してください。

ウェブブラウザーを使って設定する

1 **ウェブブラウザーを起動する**

2 **ウェブブラウザーのアドレス入力欄に http://XXXXX/ を入力する**

［XXXXX］はご使用になる本製品の IP アドレスです。

例）本製品のIPアドレスが192.168.1.2の場合
　　ブラウザーに http://192.168.1.2/ を入力します。

補足

hostsファイルを編集した場合や、DNS（ドメインネームシステム）を使用している場合は、IPアドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているため、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。
NetBIOS名は、ネットワーク設定リストに表示されます。ネットワーク設定リストの印刷方法については、⇒42ページ「ネットワーク設定リストの出力」を参照してください。
お買い上げ時のNetBIOS名は、ノード名（有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”）と同じです。
（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

3 **本製品のウェブページから［ネットワーク設定］をクリックする**

4 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは、“access”に設定されています。

5 ［プロトコル設定］をクリックする

6 「POP3/SMTP」を必ず有効にし、［詳細設定］をクリックする

7 POP3/SMTP の設定を変更する

ネットワーク設定
TCP/IP NetBIOS プロトコル

POP3/SMTP設定

状態	有効
送信メールサーバ(SMTP)	0.0.0.0
SMTPポート	25
送信メールサーバ(SMTP)認証方式	⊙認証なし ○SMTP-AUTH ○POP before SMTP
SMTP-AUTHアカウント名	
SMTP-AUTHアカウントパスワード	
パスワード設定	
パスワード確認	
プリンタのEメールアドレス	xxxxxxxxxxxxxx@example.com
受信メールサーバ(POP3)	0.0.0.0
POP3ポート	110
アカウント名(ユーザ名)	
パスワード	
パスワード設定	
パスワード確認	
	□APOPを使用

Eメール通達(エラー情報)
Eメール通達(メンテナンス情報)

キャンセル　OK

Copyright(C) 2000-2010 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

補足

- 詳細については、ウェブブラウザーのPOP3/SMTP設定のヘルプ を参照してください。
- 設定後にテストメールを送信し、Eメール設定が正しいことを確認してください。

8 設定を変更した場合は、［OK］をクリックする

「E メール送信設定テスト」画面が表示されます。

9 現在の設定をテストしたい場合は、画面上の指示に従う

ユーザー認証付Eメール通達を使用する

本製品は、ユーザー認証を必要とするSMTPサーバーを経由して、Eメール通達機能（MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ）を使用するための「POP before SMTP」または「SMTP-AUTH」認証方法をサポートしています。ウェブブラウザー、またはBRAdmin Professionalを使用して設定することができます。
「POP3/SMTP設定」画面で、以下の設定をします。詳しくは、⇒63ページ「ウェブブラウザーを使って設定する」を参照してください。

Eメールサーバーを設定する

SMTP認証方法をEメールサーバーの認証方法に設定する必要があります。
Eメールサーバーの設定については、ネットワーク管理者、またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。
SMTP 認証方式を有効にするには、「送信メールサーバー（SMTP）認証方式」の［SMTP-AUTH］にチェックを入れる必要があります。

SMTPを設定する

- ウェブブラウザーでSMTPポート番号も変更できます。これは、ご使用のISP（インターネットサービスプロバイダー）が「Outbound Port 25 Blocking（OP25B）」サービスを実施している場合に便利です。
- SMTPポート番号をISPがSMTPサーバーで使用している特有の番号（例：ポート587）に変更することで、SMTPサーバー経由でEメールを送信できるようになります。
- 「POP before SMTP」と「SMTP-AUTH」の両方を使える場合は、「送信メールサーバー（SMTP）認証方式」の［SMTP-AUTH］を選択することをおすすめします。
- 「送信メールサーバー（SMTP）認証方式」を［POP before SMTP］に設定すると、受信メールサーバー（POP3）の設定が必要となります。また、「APOPを使用」をチェックして、APOP方式を使用することもできます。

BRAdmin Professionalを使って安全に管理する（Windows®のみ）

BRAdmin Professionalを使って本製品を安全に管理するには、次の点に従ってください。

- BRAdmin Professionalは、最新バージョンをご使用されることをおすすめします。
  BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。旧バージョンの BRAdmin Professionalを使ってブラザー機器を管理すると、ユーザー認証においてセキュリティ上安全ではありません。
- 旧バージョン※1のBRAdminからアクセスすることを避けたい場合は、ウェブブラウザーを使って「プロトコル設定」画面のSNMPの［詳細設定］で、旧バージョン※1のBRAdminからのアクセスを無効に設定する必要があります。⇒62ページ「プロトコルを設定する」を参照してください。
- 従来のプリントサーバー※2と本製品のプリントサーバーが混在したグループを BRAdmin Professional で管理している場合は、グループごとに異なるパスワードを使うことをおすすめします。これによって本製品が安全に管理されます。

※1 Ver.2.80以前のBRAdmin Professional、Ver. 1.10以前のMacintosh用BRAdmin Light

※2 NC-2000シリーズ、NC-2100p、NC-3100h、NC-3100s、NC-4100h、NC-5100h、NC-5200h、NC-6100h、NC-6200h、NC-6300h、NC-6400h、NC-8000、NC-100h、NC-110h、NC-120w、NC-130h、NC-140w、NC-8100h、NC-9100h、NC-7100w、NC-7200w、NC-2200w

7章

困ったときは（トラブル対処方法）

概要

この章では、ネットワークに関してトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。
問題が解決しない場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。

- 無線LANアクセスポイントに接続できない（FAX-7860DWのみ） ⇒69ページ
- インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない ⇒70ページ
- 印刷／スキャンできない ⇒71ページ
- ネットワーク機器に問題ないか調べるには ⇒72ページ
- ネットワークの設定がうまくいかないときは ⇒74ページ

無線LANアクセスポイントに接続できない（FAX-7860DWのみ）

無線LANに接続できない場合は、以下の確認、またはお問い合わせをしてください。それでも接続ができない場合は、かんたん設置ガイドを参照してください。

無線 LAN アクセスポイントと本製品が離れすぎていませんか？間に障害物がありませんか？

本製品を見通しの良い場所へ移動させたり、無線LANアクセスポイントに近づけてください。
セットアップ時は1m以内に近づけてください。

近くに無線 LAN に影響を及ぼすものはありませんか？

本製品の近くに、他の無線LANアクセスポイントやコンピューター、Bluetooth対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がある場合は離してください。

以下の場合は、お使いのブロードバンドルーターなどのメーカーにお問い合わせください。

無線 LAN アクセスポイントが正常に動作していますか？

無線LANでインターネットに接続できるかお試しください。
接続できない場合は、無線LANアクセスポイントが正常に動作していない可能性があります。

アクセス制限を設定していませんか？

本製品のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録して、通信を許可してください。

補足

本製品のMACアドレスを調べるには、⇒39ページ「MACアドレス」を参照してください。

SSID を表示させない設定にしていませんか？

無線LANアクセスポイントのステルス（SSIDの隠ぺい）機能を使用しているときは、本製品がSSIDを自動的に見つけることはできません。本製品のSSIDを操作パネルから入力してください。詳しくは、⇒23ページ「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」を参照してください。

ネットワークキーの設定は正しいですか？

大文字、小文字は区別されます。認証されないときは、ネットワークキーが間違っていないか確認してください。

近くで別の無線機器を使用していませんか？

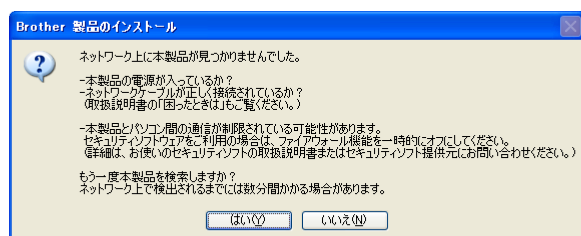
マンションやアパートでご近所にすでに別の無線機器が導入されているときは、干渉を避けるため、相手の無線機器が使用しているチャンネル番号から5ch離して設定してください。

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない

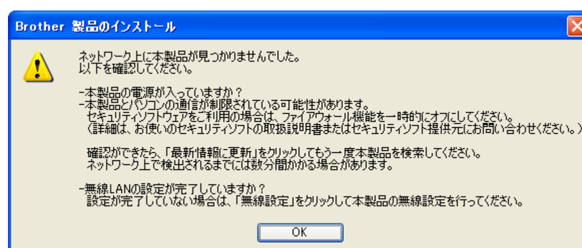
注意

■以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、有線LANの場合は［はい］をクリック、無線LANの場合は［OK］－［最新の情報に更新］の順にクリックして再度検索を行います。

有線LANの場合



無線LANの場合（FAX-7860DW）



■それでも検索されない場合、有線 LAN のときは、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示に従って、IP アドレスなどを設定してください。無線 LAN（FAX-7860DW）のときは、［OK］をクリックし、前の画面に戻り、［無線設定］をクリックして無線の設定を行ってください。

以下の項目を確認してください。

1 **お使いのコンピューターから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか確認する**
⇒ 72 ページ「ネットワーク機器に問題ないか調べるには」

2 **セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する**
⇒ 73 ページ「セキュリティソフトウェアについて」

3 **設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないか確認する**
⇒ 74 ページ「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

印刷／スキャンできない

以下の項目を確認してください。

1 **お使いのコンピューターから本製品までの接続ケーブルや接続機器が正常に動作しているか確認する**

⇒72 ページ「ネットワーク機器に問題ないか調べるには」

2 **セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する**

⇒73 ページ「セキュリティソフトウェアについて」

3 **設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないかを確認する**

⇒74 ページ「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

4 **ルーターやスイッチングハブの電源を入れなおす**

頻繁に接続しなおしたり、接続している製品の IP アドレスを繰り返し変更した直後には、IP アドレス設定に間違いがなくても正常に動作しない可能性があります。ルーターやハブ（HUB）の電源を入れなおしてください。

5 **古い印刷ジョブを削除する**

印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。プリンターフォルダー内のプリンターアイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。

プリンターフォルダーの表示方法

- Windows Vista®の場合
  － ［コントロール パネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows® 7の場合
  － ［コントロール パネル］－［ハードウェアとサウンド］－［デバイスとプリンター］の順にクリックします。
- Windows® XPの場合
  ［スタート］－［コントロール パネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。
- Windows® 2000の場合
  ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

補足

- 問題が解決できなかった場合は、一度ドライバーとソフトウェアをアンインストールして、かんたん設置ガイドに従って、再度インストールしなおすことをおすすめします。
- アンインストールの方法（Windows®の場合）
  ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［（モデル名）］を選び、［アンインストール］をクリックします。画面の指示に従ってアンインストールをしてください。

ネットワーク機器に問題ないか調べるには

お使いのコンピューターから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか、以下の点を確認してください。

本製品の電源は入っていますか？

電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーが出ている場合は、⇒ユーザーズガイド 基本編の「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してエラーを解除してください。

有線LANの場合

接続したルーターやハブ（HUB）のランプは点灯/点滅していますか？



ハブ（HUB）またはルーターなどの LAN ポートにコンピューターと本製品が正しく接続されている？

- 接続されていない場合は正しく接続しなおしてください。
- ストレートケーブル以外は使用しないでください。
- 他のケーブルで接続しなおしてください。



ルーター / ハブ（HUB）のリンクランプが点灯 / 点滅している？

一般的に、ルーター / ハブ（HUB）には接続状態を示すリンクランプがあり、点灯 / 点滅で接続状態を確認できます。

点灯 / 点滅していない場合には

- 他のLANポートに接続しなおす
- 他のLANケーブルに差し換える

ことで改善されるかお試しください。

それでも点灯 / 点滅しない場合は、ハブ（HUB）または、ルーターのメーカーにご相談ください。

セキュリティソフトウェアについて

インストール

市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

注意

セキュリティ許可を促す画面で、拒否をするとインストールが完了できないことがあります。この場合は、一時的にセキュリティソフトを停止し、ドライバーのインストールをやり直してください。

印刷機能をご利用になるとき

インストール完了後、印刷やその他の機能をご利用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。

拒否をした場合、セキュリティの解除方法については、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご確認いただくか、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

本機のネットワーク機能をご利用になるとき

以下の機能をご利用いただく場合は、セキュリティソフトのファイアウォール設定を行う必要があります。

- ネットワークスキャン
- ネットワークPCファクス受信（MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ）
- リモートセットアップ（MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ）
- BRAdmin Light

それぞれのセキュリティソフトの設定で、下記のポート番号を追加してください。

ポート番号の追加方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご確認いただくか、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

機能	名称※1	ポート番号	プロトコル (TCP/UDP)
ネットワークスキャン	例）Brother NetScan	54925	UDP
ネットワーク PCファクス受信※2	例）Brother PC-FAX RX	54926	UDP
リモートセットアップ※2	例）Brother Remote Setup	54922	UDP
BRAdmin Light	例）Brother BRAdmin Light	161	UDP

※1：名称は任意です。

※2：MFC-7460DN、FAX-7860DWのみ

ネットワークの設定がうまくいかないときは

設定しているネットワーク情報（IPアドレスおよびサブネットマスク）に誤りがないかどうかを確認します。
お使いのコンピューターと本製品のIPアドレスおよびサブネットマスクを以下の手順で確認します。
Windows®の場合は、「ネットワークプリンター診断修復ツール」が用意されています。はじめに、このツールを使って自動で修復できるかどうかお試しください。
Macintosh の場合は、お使いのコンピューターと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを確認し、手動で再設定を行ってください。再設定については、⇒8ページ「ネットワークの設定」をご覧ください。

「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使用する（Windows®のみ）

「ネットワークプリンター診断修復ツール」でネットワークプリンターを診断し、その結果を表示、場合によっては問題を自動で修復します。

補足

- Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista®/Windows® 7 を使用している場合は、管理者権限でネットワークにログインしてください。
- 本製品の電源を入れ、コンピューターとネットワーク接続した状態で、以下の手順を実行してください。

1 **Windows® 2000/XP/Windows Server® 2003/2008 は、**
［スタート］メニューから［すべてのプログラム (プログラム)］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］をクリックし、［マイコンピュータ］をクリックする
Windows Vista® は、
メニューから［コンピュータ］をクリックする
Windows® 7 は、
メニューから［コンピューター］をクリックする

2 **［ローカルディスク（C:)］－［Program Files（Program Files（x86)）］－［Browny02］－［Brother］を選び、［BrotherNetTool.exe］をダブルクリックする**

補足

Windows Vista® の場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、［許可］をクリックしてください。
Windows® 7の場合は、［はい］をクリックしてください。

3 **画面の指示に従い、診断修復を行う**

ネットワークプリンター診断修復ツールを使用しても改善しない場合は、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

補足

ステータスモニターを使用して、ネットワークプリンター診断修復ツールを自動的に起動させることができます。以下の手順に従って設定してください。
① ステータスモニターを表示させて右クリックします。
②［オプション］-［詳細設定］-［診断］タブをクリックします。
③「接続状態を常に監視する」のチェックボックスにチェックを入れ、［OK］をクリックします。
ステータスモニターの表示方法については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況を確認する（ステータスモニター）」を参照してください。
ただし、ネットワークプリンター診断修復ツールを使用して自動修復を行った場合、ネットワーク管理者が設定した固定のIPアドレスが自動的に変更される場合があるのでおすすめしません。

1. コンピューターのネットワーク情報を調べる

Windows®の場合

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［アクセサリ］を選び、［コマンドプロンプト］をクリックする

2 「ipconfig」と入力し、Enter キーを押す

3 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する

例）画面はWindows® XPです。
Windows Vista® の場合は、IPv4 Address、IPv6 Addressの両方が表示されます。



ここを調べる

（A）コンピューター側記入欄

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

4 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5 「exit」と入力し、Enter キーを押して終了する

Mac OS X 10.4.11の場合

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］ー［ネットワーク］ー［TCP/IP］をクリックする

3 「IP アドレス」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

ネットワーク設定画面で［手入力］に設定していない場合は、表示されないことがあります。

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

4 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Mac OS X 10.5.x, 10.6.xの場合

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］－［ネットワーク］をクリックする

3 ［詳細］－［TCP/IP］をクリックする

4 「IPv4 アドレス（IP アドレス）」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

5 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2. 本製品のネットワーク情報を調べる

1 ネットワーク設定リストを印刷する

⇒ 42 ページ「ネットワーク設定リストの出力」

2 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する

IP Address
Subnet Mask

```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                Brother NC-XXXXh, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<Node Firmware Ver.>       Firmware Ver.0.01
<MAC Address>              00-80-77-8a-89-4a
<Node name>                BRN8A894A

<Active services>          BRN8A894A_P1
                           BINARY_P1
                           TEXT_P1
                           POSTSCRIPT_P1
                           PCL_P1
                           BRN8A894A_P1_AT

<Protocols>
 TCP/IP          Enabled              IPv6           Disabled
 NetBIOS/IP      Enabled              APIPA          Enabled
 HTTP Port80     Enabled              IPP Port631    Enabled
 HTTPS Port443   Disabled             POP3/SMTP      Enabled
 FTP             Enabled              TFTP           Enabled
 mDNS            Enabled              SNMP           Enabled
 LegacyAuth      Enabled              TELNET         Enabled
 LPD             Enabled              Raw Port       Enabled
 LDAP            Disabled             LLTD           Disabled
 Net Scan        Enabled              PC-FAX         Enabled
 Remote Setup    Enabled              WebServices    Enabled

 IP Address                192.168.100.250 (set manually)
 Subnet Mask               255.255.255.0

 Boot Method               STATIC
 Boot Tries                3
 IP Filter                 Disabled

 GW Timeout (sec)          5
 DNS Address Config        AUTO
 Primary DNS Server        192.168.3.1
 Secondary DNS Server      133.151.111.103

<NetBIOS Name>             BRN8A894A
<WINS Address Config>      AUTO
<Primary WINS Server>      133.151.111.102
<Secondary WINS Server>    133.151.111.103

<Printer Mail Address>     xxxx@xxxx.com
<SMTP Server>              133.151.236.10
<SMTP Port>                25
<POP3 Server>              0.0.0.0
<POP3 Port>                110
<POP3 Polling Freq. (sec)> 600

<mDNS Service Name>        Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<WebServices Name>         Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<Certificate>
 Status                    None

<Ethernet Link Mode>       Auto
<Ethernet Link Status>     Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received        684307
Bad Packets Received         0
Receiver overruns            0
Packets Transmitted      48816
Transmit packet fail         0
Packet Collisions            0
```

（B）本製品側記入欄

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

3. コンピューターのIPアドレスと本製品のIPアドレスを比較する

⇒75ページ「1. コンピューターのネットワーク情報を調べる」で書き留めた（A）の値と、⇒78ページ「2. 本製品のネットワーク情報を調べる」で書き留めた（B）の値を比較します。

（A）コンピューター側

IP Address （IPアドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

（B）本製品側

IP Address （IPアドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

1 （A）と（B）の太枠の部分が同じであることを確認する

例）サブネットマスクの値が［255.255.255.0］の場合

（A）コンピューター側

IP Address （IPアドレス）	192.	168.	123.	011

（B）本製品側

IP Address （IPアドレス）	192.	168.	123.	250

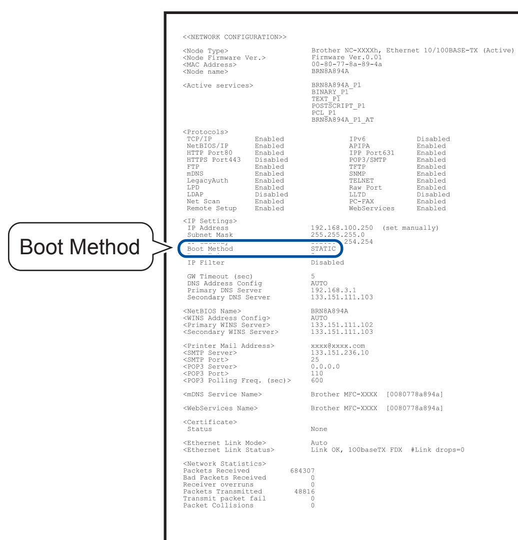
2 手順 1 の表の灰色の部分の値が、（A）と（B）で異なることを確認する

3 手順 1 の表の灰色の部分の値が、2～254 の範囲内であることを確認する

本ガイドの使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルで設定する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

4. 本製品のIPアドレス取得方法を確認する

⇒78ページ「2. 本製品のネットワーク情報を調べる」で印刷したネットワーク設定リストの、「Boot Method」の項目を確認します。




```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                     Brother NC-XXXXh, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<Node Firmware Ver.>            Firmware Ver.0.01
<MAC Address>                   00-80-77-8a-89-4a
<Node name>                     BRN8A894A

<Active services>               BRN8A894A_P1
                                BINARY_P1
                                TEXT_P1
                                POSTSCRIPT_P1
                                PCL_P1
                                BRN8A894A_P1_AT

<Protocols>
 TCP/IP          Enabled          IPv6           Disabled
 NetBIOS/IP      Enabled          APIPA          Enabled
 HTTP Port80     Enabled          IPP Port631    Enabled
 HTTPS Port443   Disabled         POP3/SMTP      Enabled
 FTP             Enabled          TFTP           Enabled
 mDNS            Enabled          SNMP           Enabled
 LegacyAuth      Enabled          TELNET         Enabled
 LPD             Enabled          Raw Port       Enabled
 LDAP            Disabled         LLTD           Disabled
 Net Scan        Enabled          PC-FAX         Enabled
 Remote Setup    Enabled          WebServices    Enabled

<IP Settings>
 IP Address                     192.168.100.250  (set manually)
 Subnet Mask                    255.255.255.0
 Boot Method                    STATIC
 IP Filter                      Disabled

 GW Timeout (sec)               5
 DNS Address Config             AUTO
 Primary DNS Server             192.168.3.1
 Secondary DNS Server           133.151.111.103

<NetBIOS Name>                  BRN8A894A
<WINS Address Config>           AUTO
<Primary WINS Server>           133.151.111.102
<Secondary WINS Server>         133.151.111.103

<Printer Mail Address>          xxxx@xxxx.com
<SMTP Server>                   133.151.236.10
<SMTP Port>                     25
<POP3 Server>                   0.0.0.0
<POP3 Port>                     110
<POP3 Polling Freq. (sec)>      600

<mDNS Service Name>             Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<WebServices Name>              Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<Certificate>
 Status                         None

<Ethernet Link Mode>            Auto
<Ethernet Link Status>          Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received            684307
Bad Packets Received             0
Receiver overruns                0
Packets Transmitted          48816
Transmit packet fail             0
Packet Collisions                0
```

- **「Boot Method」が「AUTO」の場合**

  本製品をコンピューターと同じルーターやハブに接続し、本製品の電源を入れなおしてください。それでも改善されない場合は、以下の『「Boot Method」が「STATIC」の場合』を参照して手動で設定してください。

- **「Boot Method」が「STATIC」の場合**

  本製品のIPアドレスを以下のように設定してください。

IP Address（IPアドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

太枠内

⇒75ページ「1. コンピューターのネットワーク情報を調べる」の（A）と同じ値を設定してください。

上記表の灰色の部分

ネットワークに参加しているすべてのコンピューターと異なる、2～254の値を設定してください。

この場合、他の機器と同じIPアドレスにならないように、200～250の範囲内でIPアドレスを選択することをおすすめします。（例えば、本製品のIPアドレスを192.168.123.250に割り当てます。）

詳しくは、お使いのルーターの取扱説明書をご確認いただくか、またはルーター提供元にお問い合わせください。

補足

本製品のIPアドレス設定方法は、⇒37ページ「IPアドレス」を参照してください。

5. ドライバーの再インストールをする

現在の設定を有効にするために、ドライバーのインストールを行います。すでにインストールが完了している場合は、アンインストールが必要です。

補足

Macintoshの場合は、アンインストールは不要です。

アンインストール方法

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［（モデル名）］を選び、［アンインストール］をクリックします。
後の操作は画面の指示に従ってください。

8章

付録

仕様

プリントサーバー

有線LAN

項目	内容	
ネットワークノードタイプ	NC-8200h	
対応オペレーティングシステム（OS）	Windows® 2000 Professional/ XP Home Edition/ XP Professional Edition/ XP Professional x64 Edition/ Windows Vista® およびWindows® 7 Windows Server® 2003/ 2003 x64 Edition/ 2008/ 2008 R2 Mac OS X 10.4.11以降	
プロトコル	TCP/IP：IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA（Auto IP）、 WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、 LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、 IPP、FTP Server、SNMPv1/v2c、HTTP server、 TFTP client and server、SMTP Client、ICMP、 Web Services（Print）、LLTD responder
	TCP/IP：IPv6※1	NDP、RA、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、 LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP、FTP Server、 SNMPv1/v2c、HTTP server、TFTP client and server、 SMTP Client、ICMPv6、Web Services（Print）、 LLTD responder
ネットワークタイプ	10/100BASE-TX イーサネット	
ネットワークのセキュリティ	POP before SMTP、SMTP-AUTH、APOP	
ネットワーク印刷	Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2008、 Windows Vista®、Windows® 7 TCP/IP印刷 Mac OS X 10.4.11以降 Macintosh印刷	
管理ユーティリティ	BRAdmin Light※2 BRAdmin Professional※3 BRPrint Auditor ソフトウェア※4 ウェブブラウザー	

※1　IPv6 プロトコルの詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。

※2　高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））から最新のBRAdmin Professionalをダウンロードして使用してください。

※3　BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。Windows®でのみ使用できます。

※4　USBを経由してクライアントコンピューターに接続している本製品を、BRAdmin Professionalから管理できます。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

無線LAN（FAX-7860DWのみ）

項目	内容	
ネットワークノードタイプ	NC-7800w	
対応オペレーティングシステム（OS）	Windows® 2000 Professional/ XP Home Edition/ XP Professional Edition/ XP Professional x64 Edition/ Windows Vista® およびWindows® 7 Windows Server® 2003/ 2003 x64 Edition/ 2008/ 2008 R2 Mac OS X 10.4.11以降	
プロトコル	TCP/IP：IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA（Auto IP）、WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP、FTP Server、SNMPv1/v2c、HTTP Server、TFTP client and server、SMTP Client、ICMP、Web Services（Print）、LLTD responder
	TCP/IP：IPv6※1	NDP、RA、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP、FTP Server、SNMPv1/v2c、HTTP Server、TFTP client and server、SMTP Client、ICMPv6、Web Services（Print）、LLTD responder
ネットワークタイプ	IEEE802.11b/gワイヤレス	
周波数	2400 ～ 2497 MHz	
RFチャンネル	802.11b（1-14）、802.11g（1-13）	
接続モード	アドホックモード（802.11bのみ）、インフラストラクチャモード	
データ転送速度	802.11b	11/5.5/2/1 Mbps
	802.11g	54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1 Mbps
最大到達距離	70m（最も低いデータ転送速度） （数値はご使用の環境など、様々な要素によって変化します。）	
ネットワークのセキュリティ	WEP 64/128bit、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES）、POP before SMTP、SMTP-AUTH、APOP	
ネットワーク印刷	Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2008、 Windows Vista®、Windows® 7 TCP/IP印刷、 Mac OS X 10.4.11以降 Macintosh印刷	
簡単設定	AOSS™, WPS（Wi-Fi Protected Setup）	
管理ユーティリティ	BRAdmin Light ※2 BRAdmin Professional ※3 BRPrint Auditor ソフトウェア※4 ウェブブラウザー	

※1　IPv6 プロトコルの詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。
※2　高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））から最新のBRAdmin Professionalをダウンロードして使用してください。
※3　BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。Windows®でのみ使用できます。
※4　USBを経由してクライアントコンピューターに接続している本製品を、BRAdmin Professionalから管理できます。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

索　引